

令和3年度

# 入学試験問題 入学試験問題解答例

(国語, 外国語 (英語), 数学, 理科, 社会)

(高等学校)

国語	1	～	17
外国語 (英語)	18	～	27
数学	28	～	35
理科	36	～	44
社会	45	～	56
解答例	58	～	62

〔一〕 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問十〕に答えよ。ただし、字数制限のある問題は、句読点や括弧なども全て一字に数える。

「今日も雨だ、天気が悪い」という一文を読んで、これは論理的な文章であり、後段はドウギ語の反復だと解釈する人は、国語が分かっているとは言えない。前段は確かに叙事的な表現だが、後段の真意は「X」(「気が滅入る」という叙情的な感想だと読むのが、常識だろう)。

文部科学省は、生徒の論理的な国語力の向上を目指す傍ら、主体的な表現能力の育成をハカルとして、二〇二二年度から高校国語の新しい学習指導要領を実施する。その目玉がセンタク科目「論理国語」の新設で、従来の名文読解の指導、教師が読み方を教え込む教育から、生徒に考えさせる教育へのテンカンだと言われる。これには文学関係者の危惧が強く、特に近代文学の名作のケイシにつながるという批判が、文学を研究する十六の学会から出された。

I、冷静に考えると、新政策の真の問題点は、その結果、夏目漱石や森鷗外が忘れられるということにあるのではない。文豪は知らなくても、正確に企業の報告書が書け、新聞記事が読める人材が増えれば、公教育のサイテイ基準は満たされたと言えるからである。むしろ大問題は、文科省そのものが言葉の本質を正確に捉え、現場の教員に迷わない言語観と教育法を伝えているかどうかにある。

危うさは、すでに「論理国語」という用語法自体に表れている。百歩譲ってそれを叙事的な言葉と理解しても、それと反対語の叙情的な言葉との関係は、冒頭に述べたように複雑微妙である。一方、大衆的な流行語は「カワイイ」とか「ヤバイ」とか、情緒的な述懐の氾濫を見せている折から、「論理国語」<sup>①</sup>がその撲滅を意図しているなら理解できるが、そういう気配も感じられない。

何よりも文科省の言語観の浅薄が感じられるのは、生徒の表現能力を過信し、自由な発表活動を教育の中心に据えようとしていることである。人間は自由に感じたり、考えたりしたことを話すのではなく、まず言葉を与えられ、それによって物事を感じ、考える存在であることが、ここではまったく忘れられている。さらには、表現という営みが極度に安易に捉えられ、言葉を知らない乳幼児でもできる、むずかりや甘えと同程度にしか理解されていないと言わなければならない。

乳幼児のむずかりや甘えは一对一の相手に向かい、肉體能力の届く範囲において直接的に発せられる。その際、コミュニケーションの責任はもっぱら相手にあつて、乳幼児が誤解の責任を取ることはない。実は言語活動はあらゆる点でこれと正反対の構造を持ち、人に正反対の努力を求めるものなのである。

言葉は、本質的に一对一の伝達ではなく、当の相手のほかに第三の傍聴者を予定している。直接に声の届く範囲を超えて、誰が立ち聴いても分かることを理念的な目標としている。かねて私はこれを「対話」に対する「鼎話」<sup>②</sup>活動と呼んできたが、言いかえれば言葉はただの発信ではなく、話者と複数の相手との共同体を作る営みなのである。

だからこそ、世間では相手の見えない書き言葉が重視され、書き言葉は無限定な相手に向けて、あたかも独り言のように書かれる。もし誤解が生じれば責任の大半は発信者が取ることになる。また、共同体の維持を目的とすればこそ、全体に通じる「正しい言葉」を使うという観念も生まれ、各個人

もその言葉に従って、感じたり考えたりし始めるのである。

これだけの原則を前提とした上で、しかも文部科学省の真意も忖度しながら、今、どのような国語教育改革が提案できるだろうか。近來の動向から察するところ、文科省の本意は、実社会の役に立つ国語教育を目指す、という点にあるとみられる。文豪の高尚な叙情や哲学ではなく、簡明で実用的な文章を教えたいということではないだろうか。それなりに背けない話でもないのです、だとすれば私も言葉と業とする身の責任感から、ここで二つの実現可能な方策を提案してみようと考えた。

第一は、昔、福沢諭吉が慶応義塾の生徒に教えたこと、文章でものごとを描写させる訓練である。福沢はどこにでもある人力車を取り上げ、それを見たことのない人に分かるように文章で描けと命じた。そこには情緒も哲学も入る余地はなく、ひたすら（ Y ）で、しかし多様な語彙の柔軟クシが求められる。

私はこれを現代の高校に導入するのは効果的であって、極めて容易であると考える。

II

教室を二つに分けて、一方に風景や事物を言葉で描かせ、他方にそれを読ませて絵に再現させる。その上で両者に結果を比べさせて、イドウを討論させるのである。

もう一つススメたいのは、長い文章を要約する練習である。対象の描写が言葉による観察の力を高めるとすれば、長文要約は人の考える力が言葉を通じてどのように働くかを教える。ただの思いつきを言い捨てるのは違って、共同体の共感と同意を得るために、人はどんな順序で考えを進めなければならぬかについて教える。結論の出し方によって逆に導入部の入り方が決まり、中間部の山の高さは全文の終わり方によって変わる、といった文章の妙味を、生徒はこの勉強から学ぶだろう。

この場合も教室で必要なのは、課題文に対する性急な批判や評価ではなく、もっぱら正確な読解と要約だけである。もちろん教材はシンチョウ①に選ばねばならないが、目標はあくまでも国語力の向上にあって、生徒の自己顕示欲の刺激にはないことを忘れてはならない。その上で、ここでも生徒同士の相互比較、要約の示し合いと討論を奨励すれば、教師の負担増なしに教育効果は上がるだろう。

二つの教授方法を提案したが、どちらにとっても不可欠なのは本を読むことである。国語は「読む、書く、話す」の三要素から成ると言われるが、最も重要なのは比較の余地なく読むことである。理由は、乳児のむずかりから（ Z ）のが読むことだからと言っておこう。発信は言葉がなくてもかろうじて可能だが、読み解いて理解することは言葉の独擅場である。

（読売新聞 二〇二〇年四月二十日付朝刊 山崎正和の記事による）

〔問一〕 文中の――線部a「ドウギ」、b「ハカル」、c「センタク」、d「テンカン」、e「ケイシ」、f「サイテイ」、g「クシ」、h「イドウ」、i「ススメ」、j「シンチョウ」を漢字に直して答えよ。なお、送り仮名が必要なものは、ひらがなで送り仮名も付けよ。

〔問二〕 文中の――線部A「鼎話」、B「付度」、C「独擅場」について、文脈上どのような意味と考えられるか。最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

A「鼎話」

B「付度」

- ア 第三者を含んだ話
- イ 当事者同士の話
- ウ ひとりごと
- エ 全体の討議

- ア 批判すること
- イ 推し量ること
- ウ 参考にすること
- エ 疑問をもつこと

C「独擅場」

- ア 弱点であること
- イ 受け入れがたいところ
- ウ ひとりよがりであること
- エ 他ではまねできないところ

〔問三〕 文中の空欄（ X ）（ Y ）（ Z ）に入る最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

（ X ）

（ Y ）

- ア 湿度も高い
- イ 低気圧のせいだ
- ウ 昨日から止まない
- エ だからうつつとうしい

- ア 文学的
- イ 美術的
- ウ 即物的
- エ 本質的

（ Z ）

- ア 最も遠い
- イ 最も近い
- ウ さほど近くない
- エ さほど遠くない

〔問四〕

文中の空欄  ・  に入る語として最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

- ア したがって
- イ ところで
- ウ そして
- エ だが

- ア たとえば
- イ かりに
- ウ つまり
- エ 一方で

〔問五〕 本文は次の一段落が抜けている。どこに挿入するのが最も適当か。挿入する直前の十字を抜き出して答えよ。

教師の仕事は、語彙不足の生徒に助言をすることと、最後の討論の司会をすることのほかに多くはない。一方の生徒の言葉が他方にどれだけ通じたかをはかるとともに、作文力と読解力を同じ場所で同時に比較することによって、成績判定もこれまで以上に客観性を帯びるだろう。

〔問六〕 本文によれば、文部科学省の政策の主張・目的は何か。次の1～5のそれぞれについて、正しいものはア、誤っているものはイと答えよ。

- 1 近代文学の傑作を通して、言語表現を高めていこうとしている。
- 2 実社会で役に立つ、簡明で実用的な文章を教えたいと考えている。
- 3 生徒が主体的に、自分から発信する能力を育てていこうとしている。
- 4 文学の読解法を指導するよりも、生徒に考えさせる教育を目指している。
- 5 現代社会にはびこる、情緒的で大衆的な流行語を排除しようとしている。

〔問七〕 文中の——線部①「文科省の言語観の浅薄が感じられる」とあるが、筆者はどのような点を「浅薄」だと批判しているのか。その説明として最も適当なものを、次のア～オのうちから二つ、選べ。

- ア 叙事的表現と叙情的表現との関係は複雑微妙であるにも関わらず、論理とは叙事的な表現に他ならないと理解している点。
- イ 近代文学の文豪の名文を読解することよりも、正確に企業の報告書を書いたり、新聞記事を読める方が重要だと考えている点。
- ウ 人は習得した言葉を通じてのみ思考するものであるのに、それを無視して自由な思考を表現することへ向かわせようとしている点。
- エ 国語教育における「読む、書く、話す」という三要素のうち、最も重要なのは読むことだという原則を分かっていない点。
- オ 言語表現は、対話相手への一方的なものでなく、対話の当事者以外にも伝わる言葉でなければならぬことが前提とされていない点。

〔問八〕 文中の——線部②「正反対の構造」とはどのようなことか。その説明として最も適切なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 乳幼児は言葉を用いない表現に終始するしかないために責任を回避されるが、言語活動の場合、発信される言語自体にあらかじめ責任が備わっているということ。

イ 乳幼児が一对一对応でコミュニケーションをとろうとするのと違って、言語活動は発信者の責任のうちに不特定の他者との共同体を構築する営みだということ。

ウ 乳幼児のむずかりや甘えは相手に直接的に発せられ、乳幼児自身は誤解の責任から免れるのに対し、言語活動は第三の傍聴者が責任を負うということ。

エ 乳幼児が肉体力の届く範囲での共同体の成立を目指すのと異なり、言語活動では世間という一層広い共同体の維持が目的となっているということ。

〔問九〕 文中の——線部③「二つの実現可能な方策」とは何か。本文中の語句を用いて二点、簡条書きで答えよ。

〔問十〕 本文に登場する「夏目漱石」、「森鷗外」、「福沢諭吉」の説明として最も適当なものを、それぞれ次のア～オのうちから一つずつ選べ。

ア 『吾輩は猫である』などの作品によって、余裕派と称された。その後、人間精神の自我の葛藤を描き、『こころ』『明暗』などの傑作を創作した。

イ 『雨ニモ負ケズ』が有名だが、一層有名なのは『注文の多い料理店』などの童話である。自然と生活に根ざした豊かな空想力を持った、孤高の人であった。

ウ 幕末から明治にかけて近代西洋の思想・学問の普及に努めた。人間精神の独立を主張し、『学問ノススメ』『西洋事情』などを通して、広く大衆に訴えた。

エ 清新な感性と表現を開拓し、新感覚派と呼ばれた。『雪国』『古都』などが日本人の心を伝えるものとして、日本人初のノーベル文学賞が授与された。

オ 処女作『舞姫』などを通して、浪漫主義ろうまんのさがけとして知られる。また晩年には『阿部一族』『高瀬舟』などの歴史小説を開拓し、生の倫理を探求した。

二 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問十二〕に答えよ。ただし、字数制限のある問題は、句読点や括弧なども全て一字に数える。

槍先の手柄で万石を勝ち得た故老から、こういう指物をもらったことは十蔵にとっては何にも増して有り難かった。殊に

不惜身命

という文字は彼の心境に照らしあわせて別してうれしかった。半蔵もまたそれを認めて殊更こういう品を送ったのに違いないが、十蔵はその古びた指物を床の間に飾ってうやうやしく礼拝し

「不惜身命。」

「不惜身命。」

と何度も、口に出して唱えながら、これだ。これだ。と自分の膝頭を拳骨でたたいた。

十蔵は心ひそかに戦があればいいと思っていた。戦が起これば「不惜身命」の指物を差してシユツジンし、槍半蔵に劣らない功名を立てようと念じていた。しかし近頃は將軍家の御威光が行き渡って世の中はしずかだった。こうしずかではせっかくの指物も差して出るわけにはいかなかった。実を言うと彼は戦がなくってもそれを差して出て歩きたいくらいなのだが、まさか平生そんなことも出来なかった。だが、指物は差していなくっても、十蔵の背中にはいつも「不惜身命」の小旗がなびいていた。どんな場合でも彼はその指物をしょってるつもりで振る舞っていた。

だから十蔵は常に毅然としていた。ものに動ずるといふことがない。いかなることが起ころうとも彼は落ちつきはらっていた。それだけ腹が出来て来ると、おそれやおどろきが寸毫もないから、地響きを立てて世の中をどしん、どしん闊歩していた。彼は愉快だった。彼は日々をいい気持ちで送っていた。

ところがその年の秋のことだった。十蔵は同僚のひとりからおもいもかけない噂を聞いた。「惜しいことにあの男はまだ分かっていない。」

柳生又右衛門が彼のことをそう評していたというのである。はじめは十蔵もそれを信じなかった。誰か中傷するものの仕業だと思っていた。しかしそれは中傷ではなかった。事実又右衛門がそういつているらしかかった。十蔵はむっとした。外のことならともかく、武道が分かっているのに、いうことでは武士の一分が立たない。自分としては近頃一段と胆が据わって来たつもりでいるのに、いうことに事をかいて、分かっているとは何事だ。そんなことをいうからは、たとえ上のお手直役であるうとも捨ててはおけない。果たして又右衛門がそういうことを放言したのか、とくと実否をただし上、事と次第によっては果たし合いもしかねまじき見幕で十蔵は虎の口の柳生の邸へ押しかけて行った。

それは小雨のそぼ降る、うすら寒い午後だった。柳生又右衛門は囲炉裏に前こごみになって灰の中に粟をいけていた。その頃の裁ち方である袖の狭い、短い羽織は知命に達した彼には多少肌寒く感ず

るのか、ときどき袖口のところを気にしているようだった。そこへ召使いがはいつて来て石谷十蔵が訪ねて来たことを告げた。

「1」

又右衛門は水漬みずはなをかみながら幾分予期していたような口ぶりで召使いの方を見返った。

「2」

「はあ。」

「3」

召使いは引きさがると、間もなく十蔵を案内して来た。

「4」

十蔵の語気はどことなく尖とがっていた。

「これはこれは。ようこそお越しなされた。かような見苦しい席(注6)で粗略(注6)の段はおゆるし願いたい。——どうじゃな、石谷殿、こちらへ進まれい。雨天のせいか、本日はちと冷えますな。」

「いや、某それがしはさしたることもございませぬ。——さて、さつそくながら、尊台(注7)には拙者(注7)武道をわきまえぬよう仰せになりしとかデンプン(注8)いたしましたが、さようのことしかと仰せになりましたか、うけたまわりとう存じます。」

「はははは、何事かと存じたら、そのようなことでござるか。——いや、それはそれは……」

又右衛門は笑いながら軽く答えたが、十蔵にはそれが一層癢(注9)にさわった。こちらは真剣に問うているのに、笑いにまぎらして安くあしらうとは何事だ。それならこっちにも考えがあるぞと、彼は肩を怒らして一膝前(注10)へ乗り出そうとした時、「ばあん。」と鉄砲のような音がして、突然丸いものが彼の前に飛んで来た。それが何であるか十蔵はもとより知らなかったけれども、彼は空に飛んだものを素早く右の手ではっと捕らえた。手の平の中が火をつかんだ折のようにちりちり熱かったが、彼は色にも見せないで、憤然として又右衛門を睨(注11)みつけた。「何をするのだ。小細工はよせ。こんなことで驚く拙者ではないのだぞ。」熱した彼の眼はそう怒号(注12)しているようだった。

「これはとんだ粗相(注13)を。ただ今栗を焼いておりましたのでな。——」

又右衛門は火箸(注14)を取って外の栗を掘り出した。

十蔵は何ともいわなかった。□(注15)口を結んだまま「どうだ。これでも武道のわきまえがない

というのか。」といわんばかりの顔をして、宙(注16)に伸ばした右腕をわざと突っ張ったなり、□(注17)

主人を睨みつけていた。

「いや、お見事。お見事。そのもとはいつもながらあざやかなこととござる。——しかし石谷殿。

ただ今飛んだのは栗だからよいようなものの、もしそれが鉄砲の玉であつたらどうなさるの。」

又右衛門は軽く座りなおして十蔵の方を見まもった。

「何(注18)い(注18)とー！」

十蔵はつかんでいた焼き栗をもう一度□(注19)掴みかえした。焦げた栗の皮が手の平の中でざ

りつといった。

「いや、鉄砲の玉であつたら、そのもとはどうなさるとお訊ね申したのじゃ。」

「……………」

「やはり、不惜身命で押し通しなざるかの。」

「……………」

「いかに気強いそのもどでも、砲丸であつたらまさか手づかみにはなされまい。——不惜身命は結構じゃが、時によりけりではござるまいかの。」

又右衛門はのぞくように十蔵を見上げた。拳の中で粉になった黒い栗の皮が十蔵の袴の上に少しこぼれた。

「われらが惜しいと申したのは、ただそれだけのことじゃ、そのもとは真剣を売り物にする僭上の輩があると、すぐそやつと果たし合いをやる。仕合を仰せつかると、真槍をもつてなぞと願ひ出る。してまた、今のよういものが跳ねると、何の分別もなしにすぐ捕らえる。そのお腕前は見事じゃが、しかし、いささか軽々しいきらいはござらぬかの。さいわいに今までは大過がなかつたから宜しかつたが、万一間違ひでも引き起こしたらどうなさる。いざという場合そのもとは何を以て御奉公の実を示さるおぼし召しなのだ。」

「……………」

「いや、お若い。お若い。まだ武道のおわきまえが足らぬと申したのはそのことでござる。しかし、われらの申したことがお気にさわつたとあれば止むを得ませぬ。この又右衛門を御存分になされたがよい。」

十蔵は答えなかつた。

小雨がばらばらと縁側を濡らした。

又右衛門はつづけた。

「身命を惜しむ。そのような人間はもとより武士の列にははいりませぬ。心ある武士なら申すまでもなく不惜身命でなくてはなりません。さりながら不惜身命だけではまだ 8 とは参りませぬ。せいぜい中の上、上の下でござる。真の勇者はもそつと生命を惜しみます。つねづね身命を惜しんでこそ、一大事の場合にはじめて不惜身命の働きが出来るものではござりますまいか。人間一生のうち生命を惜しまぬというような場合は、そう何度もあることではござらぬ。まず平生は生命を惜しむことが肝要ではありませんか。そのもとのように年中『不惜身命』で力んでいては、たとえば弓を張りっぱなしにいたしておくようなもので、かえつて弓がたるんでしましますわい。どうじゃな、石谷殿。『不惜身命』の指物はちと下ろしてお置きになつては、さようなものを明け暮れ背中にしよつていては肩が凝つてなりませんぞ。」

又右衛門はなお諄々と説いていたが、十蔵の頭にはそう細かにははいらなかつた。ただ彼の胸にはつきり焼き付けられたことは、上様の御指南番だけあつて、なるほど又右衛門という人は大きな人物だ。自分はいつぱし武道が分かつていたつもりでいたが、この人の前に出てはまるで駄目だ。小児も同然だと思つたことだつた。彼はここへ押しかけて来た時にはすばらしい勢いだつたが、会つてゐる内にだんだん頭が下がつて行つた。そしてはいつて来た時のような見幕はいつの間にか全く消えてしまつた。彼は自分のミジユクがひしひしと身にしみた。彼は素直にそれを認め、今日の粗忽を深く詫びて、又右衛門のもとを辞した。

柳生の邸は外濠のそばの土橋の袂にあつた。十蔵は門を出ると、ホウシンしていたのか、つい

ふらふらと前の土橋を渡ってしまった。供ともの者に注意されて、彼ははじめて方角違いに歩いていたことに気がついた。

空は曇っていたが、雨はやんでいた。十蔵は原河岸はらがしに立って動かない壕ほりの水をしばらく見つめていた。

それからというものの、十蔵はまるで別人のようになった。前には大地をどしん、どしん踏みつけて歩くような歩き方だったが、今度は馬の横を通るのでも遠回りをして過ぎるといような態度になった。人間というものはそんなに急に変わるものではない、という人があるかもしれないが、それは人によりけりであろう。十蔵のように一途いちずな男は、かえってかわり方が激しいようである。何しろ又右衛門にいわれるとすぐその場で自分の至らないことをヨウニンするといような率直、単純な人間なのだから。

9

それはとにかく

⑤ 惜身命しやくしんみんみょう

不惜身命

⑥ 惜身命

といった具合に、生命を惜しむことにも、ただ生命を惜しむのと、もっと上の意味のと、いろいろの段階があることを知った十蔵は、「不惜身命」のもう一つ向こうの「惜身命」に浸ろうとつとめた。そして彼は彼なりにどうやらそれをこなして行った。そこで日常の起居にも、心構えにも自然にゆとりが出て来て、前のようにごつごつしたところが大分少なくなった。それは年と共に練ねれて行き、次第に丸味を帯びて行った。

(山本有三『不惜身命』による)

(注1) 万石を勝ち得た故老：一万石の大名にとり立てられた老人。ここでは服部半蔵のこと。

「槍半蔵」とも。

(注2) 指物：武士が戦場で自分の存在を主張した小旗

(注3) 寸毫も：少しも

(注4) 上のお手直役：將軍家の武術の指導者

(注5) 虎の口：柳生邸のあった地名

(注6) 粗略の段：もてなしがいい加減なこと

(注7) 尊台：あなたさま

(注8) そのもと：あなた

(注9) 僭上の輩：身分をわきまえない、でしゃばった連中

(注10) 諄々と：丁寧にくり返し言い聞かせるさま

(注11) 上様の御指南番：(注4)に同じ

〔問一〕 文中の ── 線部①「シュツジン」、②「デンブン」、③「ミジュク」、④「ホウシン」、⑤「ヨウニン」を漢字に直して答えよ。

〔問二〕 文中の ── 線部A「功名」、B「胆が据わって」、D「粗忽」の本文での意味として最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

A 「功名」

B 「胆が据わって」

ア 挑戦すること

ア 落ち着いて

イ 誇りを持つこと

イ あわてて

ウ 名声を得ること

ウ 努力して

エ 恐れないこと

エ 緊張して

D 「粗忽」

ア 甘え

イ 不作法

ウ 無理解

エ 狭い考え

〔問三〕 文中の ── 線部C「知命」はある年齢の異称であるが、それは次の『論語』の一節に拠っている。何歳を指すか、数字で答えよ。

子曰はく、「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。六十にして耳順ふ。七十にして心の欲する所に従ひて、矩を踰えず。」と。

〔問四〕 文中の——線部①「自分の膝頭を拳骨でたたいた」とあるが、これは「十蔵」のどのような気持ちを表しているのか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 「不惜身命」という語を、今まで知らずに過ごしてきた自己の無知を思い知らされ、嘆いている。

イ 「不惜身命」という語を、高名な先輩から贈られたことに感激しているものの、意味を理解しかねている。

ウ 「不惜身命」という語の、厳しさや奥深さに圧倒され、目標として掲げつつも焦りにとらわれている。

エ 「不惜身命」という語は、武士として自己の生き方の座右の銘めいとなる態度である、と共感している。

〔問五〕 文中の——線部②「どんな場合でも彼はその指物をしょつてるつもりで振る舞っていた」とあるが、このときの「十蔵」の様子の説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア あらゆる戦にでも対応できるよう、常に重々しい指物を背負うことで、心身を鍛えていると励んでいる。

イ 今は戦のない平和な世の中ではあるが、戦を心待ちにし、いつでも自身の命をささげようと決意している。

ウ 本当は弱々しい内面をひた隠しにしようと、「不惜身命」の言葉の力で、外見だけでも強い姿を演出している。

エ 「不惜身命」の精神で将軍家を守ろうと、これから起こりうるすべての戦に対して、警戒の目を光らしている。

〔問六〕 文中の——線部③「地響きを立てて世の中をどしん、どしん闊歩くわつぽしていた」とあるが、この自信に満ちた「十蔵」の態度は、「又右衛門」との会話後、どのように変化したか。それを比喩的に表現した箇所を、本文から三十字以内で抜き出して答えよ。

〔問七〕 文中の空欄 1 4 に入る会話文として最も適当なものを、それぞれ次のア～オのうちから一つずつ選べ。ただし、同じ記号は重複して使えない。

ア ほう、訪ねてまいったか。

イ 是非とも会いたいと申したら、ここへお通し申せ。

ウ はははは、石谷殿は気が短いのう。

エ お引き籠もりの中を押してお邪魔いたし恐縮に存じますが、ちとお伺<sup>うかが</sup>いたしたき儀のござつて……

オ では、こう申すがいい。所労で引き籠もっておりますが、何か火急<sup>かきゅう</sup>の御用事でござりましょうか、と一応訊<sup>たず</sup>ねて見るがいい。

〔問八〕 文中の空欄 5 7 に入る語として最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。ただし、同じ記号は重複して使えない。

ア ぎゅっと

イ きりっと

ウ じっと

エ じわっと

〔問九〕 文中の——線部④「武道のおわきまえが足らぬ」とあるが、「又右衛門」は「十蔵」に對して、どういう点で武道のわきまえが足らないと指摘しているのか。その説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 腕前は確かだが、自身の命を惜しむことなく決闘をしたり、分別なく争ったりするのが軽率だという点。

イ 現在の自身の腕前に満足してしまい、命をかけてさらに磨き上げよう、という向上心が足りないという点。

ウ 軽くあしらわれて憤慨する時点で、精神的に幼稚であり、このままでは一流の武士にはなれないという点。

エ 命がけで奉公する武士は、一度でも間違いを起こしてはならないのに、若さゆえにその大切さに気づいていない点。

〔問十〕 文中の空欄 8 に入る最も適当な語句を、考えて三字で答えよ。

〔問十二〕文中の空欄 9 に入る最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 彼は恥じることを知らない。彼はためらいを知らない。悪いと思えば、誰であろうと斬って捨てるし、いいと思えば、悪事であろうと手を染めてしまう男なのである。
- イ 彼は断定を知らない。彼はいさぎよさを知らない。悪いと思えば、良い点を見出そうとし、いいと思えば、それでも悪い点もあろうと考える優柔な男なのである。
- ウ 彼は迷いを知らない。彼はもだえを知らない。悪いと思えば、すぐそれが捨てられるし、いいと思えば、まっしぐらに、その方へ走って行ける男なのである。
- エ 彼は素朴を知らない。彼は悩まぬことを知らない。悪いと思えば、疑心の闇へ落ちるし、いいと思えば、これとて疑念がわいて動くことのできない男なのである。

〔問十二〕文中の——線部⑤⑥「惜身命」には、意味内容に違いが見られる。それぞれどのような内容を指すか。⑤は本文から八字で抜き出して答えよ。⑥は「又右衛門」の発言内の語句を用いて、次の一文の空欄に合うように二十字以内で答えよ。

いざという時に「不惜身命」の働きをするためには、( ) ( )と( )と( )。

〔三〕 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問八〕に答えよ。ただし、字数制限のある問題は、句読点や括弧なども全て一字に数える。

ある河のほとりを、馬に乗りて通る人ありけり。其かたはらに、龍といふもの、水に離れて迷惑するありけり。此龍今の人を見て申しけるは、「われ今水に離れてせんかたなし。あはれみを垂れ給ひ、その馬に乗せて水ある所へ着けさせ給はば、その返報として金銭を奉らん」といふ。かの人誠と心得て、馬に乗せて水上へ送る。そこに、「約束の金銭をくれよ」といへば、龍怒つて云、  
 ①「なんの金銭をか参らすべき。我を馬に括り付けて痛め給ふだにあるに、金銭とは何事ぞ」といどもあらそふ所に、狐馳せ来つて、「さても龍殿は、なに事をあらそひ給ふぞ」といふに、龍右のおもむきをなんいひければ、狐申しけるは、「われこの公事を決すべし。さきに括り付けたるやうは、なにかしつるぞ」といふに、龍申しけるは、「かくのごとし」とて、また馬に乗るほどに、狐人に申しけるは、「いか程か締め付けらるるぞ」といふほどに、「これほど」とて締めければ、龍の云、「いまだそのくらいなし。したたかに締められける」といへば、「これほどか」とて、いやまじに締め付けて、人に申しけるは、「かかる無理無法なるいたづら者をば、もとの所へやれ」とておつ立てたり。人げにもとよろこびて、本の島におろせり。其時、龍いくたび悔やめども、甲斐なくしてうせにけり。

〔伊曾保物語〕による

〔問一〕 文中の——線部A「迷惑する」、B「せんかたなし」、C「したたかに」の本文での意味として最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

A 「迷惑する」

B 「せんかたなし」

- ア 気に入らない者  
 イ 困っている者  
 ウ 腹が立つ者  
 エ 泳げない者

- ア 気分がよくない  
 イ どうしようもない  
 ウ 何も考えられない  
 エ 様子がわからない

C 「したたかに」

- ア そつと  
 イ 上手に  
 ウ 無理に  
 エ しつかりと

〔問二〕 文中の——線部①「馬に乗りて通る人ありけり」とあるが、

(1) いくつかの単語からできているか。その総数を算用数字で答えよ。

(2) いくつかの文節からできているか。その総数を算用数字で答えよ。

〔問三〕 文中の——線部②「金銭を奉らん」の口語訳として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 金銭を差し上げよう。

イ 金銭を私に下さい。

ウ 金銭は要りますか。

エ 金銭は渡せません。

〔問四〕 文中の——線部③「なんの金銭をか参らすべき」とあるが、このときの「龍」の心情の説明として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 金銭を渡すと言ったうそを自覚し、反省している。

イ 金銭を渡そうか、やめておくべきか迷っている。

ウ 金銭を渡す気など全くなく、開き直っている。

エ 金銭を渡す理由がわからず、困惑している。

〔問五〕 文中の——線部④「締めければ」、⑤「締め付けて」の主語として最も適当なものを、それぞれ次のア～エのうちから一つずつ選べ。

ア 馬           イ 狐           ウ 龍           エ 人

〔問六〕 本文における、狐の発言箇所はいくつあるか。その総数を算用数字で答えよ。

〔問七〕 本文の内容と合致する最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 「龍」は自分がしてしまったことを何度も後悔したが、その思いもむなしく死んでしまった。

イ 「人」は最初、「龍」の言葉を信じていなかったが、困っているようなので仕方なく手助けした。

ウ 「狐」は「人」と「龍」をだまして仲裁しようとしたが、真意を見抜かれて失敗に終わった。

エ 「馬」は「龍」を乗せていったん水のある所へ行ったが、「人」の命令で再び元の所へ戻った。

〔問八〕 本文の出典である『伊曾保物語』の各話の最後には、教訓が付されている。本文の話に付

されている教訓として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア このように、物事の善し悪しをわきまえない悪人には、物の道理を教えても意味がない。ただ忍耐が必要である。

イ このように、他人が自分に仇あだをなすに違いないと知ったとしても、自分から復讐ふくしゅうしてはならない。おのれの仇は退けるべきなのだ。

ウ このように、人から思いを受けてその恩に報いるどころか、かえって人に仇をなすときには、天罰が下るものなのだ。これを悟るがよい。

エ このように、自分に災難が起ったとしても、あわてて口に出すべきでなく、まず事の始末を考えよ。恥をかくだけでなく、その後もずっと笑い者になるのだ。

## 外国語 (英語)

1 次の各組の A と B の関係が C と D の関係と同じになるように、D に適する語を入れよ。

	A	B	C	D
1.	understand	understood	teach	(       )
2.	good	better	bad	(       )
3.	I	mine	she	(       )
4.	go	come	buy	(       )
5.	three	third	nine	(       )

2 次の各組の A の説明にあてはまる語を B の空所に入れ、B を意味の通る英文にせよ。

- A. a room that is used for cooking or washing dishes  
 B. Our mother is busy in the (       ).
- A. the eleventh month of the year, between October and December  
 B. The cold north winds begin to blow in (       ).
- A. a large area of water which is surrounded by land and it is larger than a pond  
 B. We went for a swim in the (       ).
- A. something that you use to protect yourself from the rain or hot sun  
 B. You should take an (       ) with you. It looks like rain.
- A. the warmest season of the year, between spring and fall  
 B. The (       ) vacation was very short last year.
- A. the part of the body at the end of the arm  
 B. It is important to wash your (       )s before you eat.
- A. the brother of your mother or father  
 B. I'm going to visit my (       ) this weekend.



6 次の各組の英文がほぼ同じ意味になるように、空所に最も適する語を入れよ。

1. I am a member of the tennis club.  
= I ( ) ( ) the tennis club.
2. I'm sure that the tall man is a musician.  
= The tall man ( ) ( ) a musician.
3. When he heard the news, he became very happy.  
= The news ( ) ( ) very happy.
4. How about going shopping with me?  
= Would you ( ) ( ) go shopping with me?
5. We don't have any food in the refrigerator now.  
= There is ( ) ( ) eat in the refrigerator now.

7 次の英文の空所に、[ ] 内の語を補って英文を完成させたとき、それぞれの ( A ), ( B ) に入るものを記号で答えよ。

1. 彼の書いたメールは間違いだらけでした。  
The e-mail ( ) ( A ) ( ) ( ) ( B ) ( ).  
[ ア of イ he ウ was エ full オ wrote カ mistakes ]
2. トムは3日間ずっと学校を休んでいる。  
Tom ( ) ( A ) ( ) ( B ) ( ) ( ) three days.  
[ ア for イ has ウ from エ been オ absent カ school ]
3. あの町で何が起きたか誰か知っていますか。  
Does ( ) ( ) ( A ) ( B ) ( ) ( ) town?  
[ ア in イ know ウ that エ what オ anyone カ happened ]

8 次の英文を [ ] 内の指示に従って書きかえよ。

1. These pencils are Lisa's. [ 下線部を尋ねる疑問文に ]
2. Taro must cook dinner by seven. [ 「～する必要はない」の意味を表す否定文に ]
3. I was so tired that I couldn't walk home yesterday.  
[ too ~ to … を用いてほぼ同じ意味の文に ]

9 次の日本語を [ ] 内の指示に従って英語に直せ。

1. 睡眠は私たちの健康にとって最も大切なことの一つです。 [ 最上級を用いて ]
2. 私は英語を学ぶために海外留学をした後、英語の先生になるつもりです。 [ after を用いて ]

10 次の英文の空所に入る最も適するものをそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

1. A good zoo is sometimes the only place for animals in \*danger. They can live there and scientists can watch them. The animals can have babies in the zoo and one day maybe the babies can go back to their natural home and be ( A ) again. But animals in zoos often forget their natural \*behavior, so this is difficult.

One of the scientists' jobs is to teach natural behavior. Scientists watch wild animals and then watch animals in zoos. Often their behavior is very ( B ).

Wild animals in the nature are very active, but zoo animals sit for a long time in an empty cage and wait all day for food.

注) danger : 「危険」                  behavior : 「行動」

A :    ア free                          イ strong                          ウ important                          エ dangerous  
 B :    ア easy                          イ different                          ウ difficult                          エ comfortable

2. We often forget things. ( A ), we sometimes forget someone's name or English words we have studied. Why do we forget these things? Many people have studied about forgetting. Some of them say there are three types of forgetting.

First, we forget things after some time passes. Usually you can remember more about a book you read yesterday than about a book you read last year.

( B ), when we see two things which look alike, we forget some things about each of them. For example, when you watch two TV dramas and their stories are almost the same, it is difficult to remember small things about each TV drama.

Third, we usually ( C ) bad things more quickly than good things. Why? Maybe we try to remember good things because we can feel happy. But we don't remember bad things because we don't want to feel sad.

A :    ア So                                  イ Also                                  ウ However                                  エ For example  
 B :    ア But                                  イ Second                                  ウ Finally                                  エ Generally  
 C :    ア feel                                  イ find                                  ウ forget                                  エ remember





12 次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

Many people in \*Venice knew who Antonio Rossi was. Like his father, Antonio was a very good \*glassblower. He made many beautiful glass items such as \*vases and \*water pitchers.

Antonio's daughter Clara liked her father's \*workshop. She loved to look at all of the beautiful items he made. One day, she walked into the workshop and there her father was standing beside two beautiful glass vases.

"Do you like them, Clara?" he asked proudly. "I have made them for Mr. Lombardi, the great writer here in Venice."

"They're beautiful, Father," Clara said.

"I must go and get Mr. Lombardi," said her father. Then, he left the workshop.

Clara looked at the vases. Beside them was a note. It said, "*Mr. Rossi, please make two beautiful vases for my wife. S. Lombardi*" Clara read the note and smiled. As she turned, she hit her hand on the vases.

"No!" she cried.

She tried to catch them, but it was too [ A ]. They fell to the ground and broke into many pieces. Only the round \*bases at the \*bottom were not broken.

Clara reached her hand and picked up one of the round bases. ① "What will I tell Father?" she thought. She held the piece in front of her and big wet tears fell down her \*cheeks.

Just then she saw Mr. Lombardi's note as she looked through the glass. The words were... BIG!

Clara looked at the base. It was \*flat on one side and \*curved on the other. She picked up the other base and looked through it. It worked, too! The words looked bigger!

Clara thought quickly. She found a \*wire and hit it with a hammer to make ② it flat, then carefully \*wrapped it around the two glass pieces.

As Clara finished, she heard footsteps. Mr. Lombardi and her father walked in.

"Now I'm going to show you the... Clara!" Clara's father stopped, and looked at the broken vases on the floor.

"I'm so [ B ], Father," Clara said.

Mr. Lombardi looked at the two pieces of glass in a wire \*frame in Clara's hand. "What do you have there?" he asked.

"I made it from the broken pieces," said Clara. "Look through them." She held up the note for him to see.

Mr. Lombardi's eyes opened wide. "The words! They're [ C ]!" He looked at Clara's father. "My wife can't read my books because of her eyes. This will be my gift to her! It will be the greatest gift ever!"

Clara's father [ D ]. "I don't know how you did it, Clara," he said, "but you made something very useful."

Clara really made something very useful. She \*invented .

注) Venice : 「ベニス (イタリアの港湾都市)」	glassblower : 「ガラス吹き職人」	
vase : 「花瓶」 <small>かびん</small>	water pitcher : 「水差し」	workshop : 「作業場」
base : 「土台部分」	bottom : 「底」	cheek : 「頬」 <small>ほお</small>
flat : 「平らな」	curved : 「曲がった」	wire : 「針金」
wrap A around B : 「A を B に巻きつける」	frame : 「枠」 <small>わく</small>	
invent : 「発明する」		

[問 1] [ A ] ~ [ D ] に入る最も適するものをそれぞれ下から 1 つ選び、記号で答えよ。

[ A ]	ア early	イ late	ウ easy
[ B ]	ア happy	イ angry	ウ sorry
[ C ]	ア big	イ small	ウ heavy
[ D ]	ア got angry	イ smiled	ウ was sad

[問 2] 下線部①について、この時の Clara の心情として最も適当なものを下から 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 父親に対する感謝の気持ち
- イ 父親に対して申し訳ない気持ち
- ウ 父親が帰ってくるのが待ち遠しい気持ち

[問 3] 下線部②が表しているものを下から 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 花瓶
- イ ハンマー
- ウ 針金
- エ ガラスの破片

[問 4]  にはどのような意味の語が入ると考えられるか、本文に即して日本語で答えよ。

[問 5] 本文の内容に一致するものを下から 3 つ選び、記号で答えよ。

- ア Antonio's father was also a great glassblower.
- イ Antonio made two beautiful vases for Lombardi and a famous writer from Venice.
- ウ Antonio asked Lombardi to make two vases for his wife.
- エ Clara cried because she dropped the vases her father made.
- オ Lombardi was very happy to get the beautiful vases Clara made.
- カ Antonio was very angry because Clara broke the vases he made.
- キ When Antonio and Lombardi came back to the workshop, Antonio proudly introduced her daughter to him.
- ク Lombardi thought that the Clara's glass item from the broken vases would be a great gift for his wife.

13 次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

\*Transportation is the movement of people or goods from one place to another. We can transport things in the water, in the air, or over land. We can use animals, \*vehicles, or just our ( ). Sometimes we travel for work, and あ .

Until about 7,000 years ago, people had to walk everywhere. Then they started to use animals for transportation. Later, people \*invented vehicles.

People used horses for transportation in lots of places. People also used \*camels in Africa, elephants in Asia, and \*llamas in South America. People still use animals for transportation today.

People made \*rafts from trees. They \*floated their rafts on rivers and got on them. ① It was easier than swimming, and they didn't get wet. These were the first vehicles. And then \*sleds were made. Sleds were like rafts, but they were used on land. ② They were useful because it is easier to pull heavy things than to lift them.

About 5,500 years ago, people added wheels to sleds. Farmers and traders [ A ] carts with two or four wooden wheels. Cows and horses [ B ] the carts. Carts with wheels were much faster than sleds. The wheel is an important invention in history, and today い . Cars, buses, trucks, trains, bicycles, motorcycles, and planes all have wheels. Wheels are important in engines, too.

Until about 10,000 years ago, people lived in small family groups and they didn't travel a lot. Then, う , people had to travel to find food. People used animals to carry goods like meat, fish, and fur. Then about 6,000 years ago, people started to travel long distances to \*trade metals, salt, and spices. Ships [ C ] trading in the \*Middle East 4,500 years ago. People often used ships え . Soon, people were trading all around Europe and Asia. ③ Then, using animals for transportation was getting less and less.

Today, every country in the world uses water, air, and land transportation to trade food, fuel, clothes, and other goods like cars and televisions. Tourists started to go on vacation by train and boat 200 years ago. From about 1960, with the invention of large \*passenger planes, \*tourism became very popular. Today, about 900 million tourists travel to another country every year.

In 2001, Dennis Tito was the first space tourist. He [ D ] in a Russian spaceship to the International Space Station. In the near future tourists will be able to travel a long way above Earth in space planes. Space tourists will see Earth from space. It will cost a lot of money, but it will be a great memory.

注) transportation : 「輸送」

camel : 「ラクダ」

float : 「浮かべる」

Middle East : 「中東」

vehicle : 「乗り物」

llama : 「ラマ」

sled : 「そり」

passenger plane : 「旅客機」

invent : 「発明する」

raft : 「いかだ」

trade : 「売買する」

tourism : 「観光旅行」

[問1] ( )に入る最も適するものを下から1つ選び、記号で答えよ。

ア cars                      イ feet                      ウ carts                      エ trains

[問2] [ A ] ~ [ D ]に入る最も適するものをそれぞれ下から1つ選び、適当な形に変えて答えよ。ただし、同じものを複数回使用してはいけない。

[ begin              make              fly              pull ]

[問3]  ~ に入る最も適するものをそれぞれ下から1つ選び、記号で答えよ。

ただし、同じものを複数回使用してはいけない。

ア you can see wheels everywhere  
 イ as villages and towns became bigger  
 ウ sometimes for vacation or just for fun  
 エ because animals could not travel over water

[問4] 下線部①が表しているものを下から1つ選び、記号で答えよ。

ア 体がぬれないこと  
 イ 輸送に動物を使うこと  
 ウ 木でいかだを作ること  
 エ いかだを浮かべて乗ること

[問5] 下線部②を They の内容を明らかにして和訳せよ。

[問6] 下線部③を和訳せよ。

[問7] 本文の内容と一致するものには○を、一致しないものには×を記入せよ。

ア People invented vehicles about 8,000 years ago.  
 イ Elephants were used for transportation in Africa.  
 ウ The first vehicles were sleds.  
 エ Sleds were not as fast as carts with wheels.  
 オ Though space travel will be expensive, it will be an amazing experience for space tourists.

# 数 学

1 次の問いに答えよ。

(1) 次の計算をせよ。

$$\frac{\sqrt{3}-\sqrt{2}}{\sqrt{3}} + \frac{5}{\sqrt{6}} + \frac{\sqrt{24}}{4}$$

(2) 次の計算をせよ。

$$\frac{x-2y}{3} - \frac{3}{2}(2x-3y) + 2x - \frac{5}{2}y$$

(3) 次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2(x-2) - 6(y-3) = 18 \\ 0.1(0.1x + 0.5y) = \frac{1}{25}x + \frac{3}{10} \end{cases}$$

(4) 次の等式を [ ] 内の文字について解き、最も簡単な形で答えよ。ただし、 $y \neq 0$  とする。

$$x = \frac{(a+2b)}{2}y \quad [b]$$

(5) 次の式を因数分解せよ。

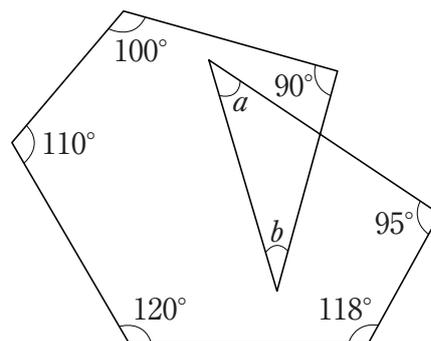
$$a^2x^2 - a^2y^2 - b^2x^2 + b^2y^2$$

(6) 次の2次方程式を解け。

$$(2x + 1)^2 - 32 = 4(2x + 1)$$

(7)  $\frac{195}{28}$  をかけても,  $\frac{135}{44}$  をかけても自然数になるような分数のうち, 最も小さいものを求めよ。

(8) 右の図において,  $\angle a + \angle b$  の値を求めよ。

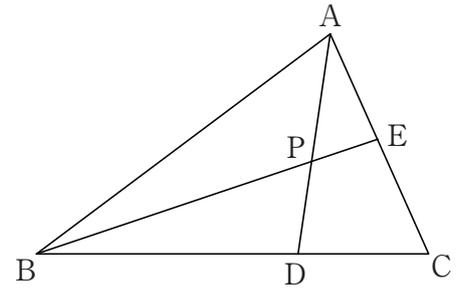


2

次の問いに答えよ。

- (1) 右の図のように、 $\triangle ABC$  の辺  $BC$  上に  $BD : DC = 2 : 1$  となる点  $D$  をとり、辺  $AC$  上に  $AE : EC = 1 : 1$  となる点  $E$  をとる。

次の問いに答えよ。



- (a)  $BP : PE$  を求めよ。

- (b)  $\triangle APE : \triangle BPD$  を求めよ。

- (2) 次の2つの連立方程式が同じ解をもつとき定数  $a$ ,  $b$  の値を求めよ。

$$\begin{cases} x + y = -1 \\ ax + y = 5 \end{cases} \quad \begin{cases} 2x + by = 7 \\ 3x - 2y = 12 \end{cases}$$

- (3) 原価  $a$  円の商品を 100 個仕入れた。この商品を原価の 2 割の利益を見込んだ定価で販売したところ 70 個が売れた。残りの商品を定価の 25% 引きですべて売り切ったところ、全体の利益が 3850 円になった。 $a$  の値を求めよ。

- (4) 次の資料は、書店のある週の1日当たりの参考書の売り上げ(冊数)を調べた表である。次の問いに答えよ。

	月	火	水	木	金	土
冊数(冊)	34	38	30	35	33	28

- (a) 中央値と平均値を求めよ。

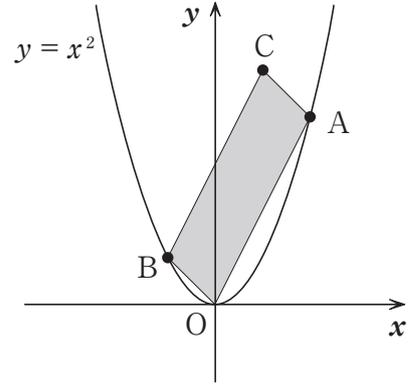
- (b) 表の6個の数値のうち1個が誤りであることがわかった。正しい数値に基づいて計算すると中央値は34冊、平均値は33.5冊であった。誤っている曜日と正しい数値を答えよ。

- (5) 2個のさいころ A, B を同時に投げて、出た目の数をそれぞれ  $a, b$  とする。このとき、 $m$  を  $m = \frac{60}{a+b}$  と定める。次の問いに答えよ。

- (a)  $m = 10$  となる確率を求めよ。

- (b)  $m$  が5の倍数となる確率を求めよ。

- (6) 右の図で，関数  $y = x^2$  のグラフ上に 2 点 A, B があり，A の  $x$  座標は  $a$ ，B の  $x$  座標は  $-1$  である。四角形 OACB は平行四辺形であり，直線  $y = \frac{1}{2}x + \frac{9}{4}$  は平行四辺形 OACB の面積を 2 等分している。ただし， $a > 0$  とする。次の問いに答えよ。



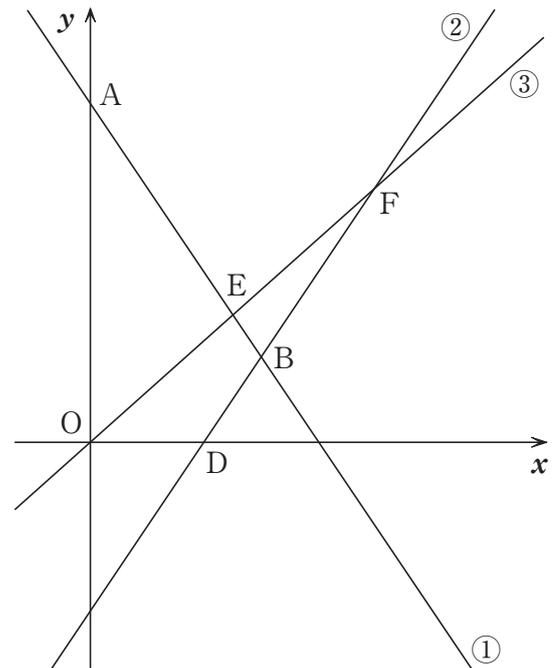
- (a)  $a$  の値を求めよ。
- (b) 平行四辺形 OACB の面積を求めよ。

3

A 君と B 君は、36 km 離れた 2 地点 P, Q 間のサイクリングコースを自転車で走ることにした。A 君は時速 2 km の速さで P を出発し Q に向かった。B 君は A 君と同時に Q を出発し、一定の速さで P へ向かったところ、途中で A 君とすれ違い、その 3 時間後に P に到着した。2 人がすれ違ったのは、同時に出発してから何時間後か。

4 右のグラフで点 A, B の座標を  $A(0, 12)$ ,  $B(6, 3)$  とする。

2点 A, B を通る直線を ①, 2点 B, D を通る直線  $y = \frac{3}{2}x - 6$  を ②, 直線  $y = ax$  を ③ とする。また, 直線 ① と直線 ③ の交点を E とする。ただし,  $a > 0$  とする。次の問いに答えよ。

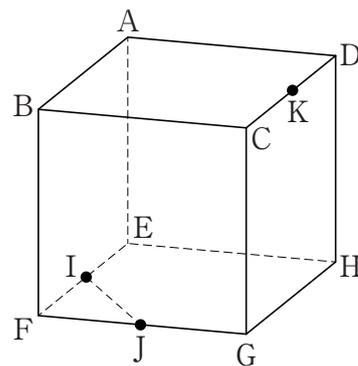


(1) 直線 ① の式を求めよ。

(2) 四角形 ODBE の面積が四角形 ODBA の面積の半分になるとき,  $a$  の値を求めよ。

(3) 直線 ② と直線 ③ の交点を F とする。ただし, F の  $y$  座標は正とする。 $\triangle OAE$  と  $\triangle BFE$  の面積が等しくなるとき,  $a$  の値を求めよ。

5 右の図のように、1辺の長さが6の立方体  $ABCD-EFGH$  があり、辺  $EF$ 、 $FG$  の中点をそれぞれ点  $I$ 、点  $J$  とする。次の問いに答えよ。



(1) 辺  $CD$  の中点を  $K$  とする。点  $I$ 、 $J$ 、 $K$  を通る平面でこの立方体を切断したとき、切り口の形として最も適するものを答えよ。また、このときの点  $B$  を含む立体の体積を求めよ。

(2) 点  $I$ 、 $J$ 、 $C$  を通る平面でこの立方体を切断したとき、切り口の形として最も適するものを答えよ。また、このときの点  $B$  を含む立体を  $V$  とする。 $V$  の体積を求めよ。

(3) (2) の立体  $V$  を点  $B$ 、 $G$ 、 $E$  を通る平面で切断したとき、点  $F$  を含む立体の体積を求めよ。

# 理 科

1 次の [I], [II] に答えよ。

[I] 凸レンズに関する次の問いに答えよ。凸レンズで光が屈折するのは実際は光が入るときと光が出る時であるが、この問題では凸レンズの中央で 1 回屈折する、または屈折せずに直進するものとする。

(1) 下の図1で、A、Bは凸レンズの焦点である。図中の凸レンズに進んできた光線①～③の、レンズ通過後の進路を解答欄の図に実線で記入せよ。なお、同じ図に 3 本とも記入せよ。

(2) 下の図2と図3で、A、Bは凸レンズの焦点である。凸レンズによる物体の像の位置の変化について次の文中の空欄 (a)、(b) にあてはまる語をあとの選択肢から選び、解答欄に記せ。

図2で物体を右に移動させたところ、物体の先端Pの像の位置も移動した。その移動の向きは ( a ) である。

図3で物体を右に移動させたところ、物体の先端Pの像の位置の移動の向きは ( b ) である。

選択肢 { 右上 , 右下 , 左上 , 左下 }

(3) 下の図4で、A、Bは凸レンズの焦点で、Oはレンズの中心点である。ABを通る直線(光軸)に平行な太陽光線を凸レンズに当て、光軸に垂直な面に光を映した。O点から面までの距離は40cm、凸レンズの直径は12cmで、凸レンズを通過して面に映った光の直径は4cmである。

(a) 凸レンズの焦点距離は何 cm か。

(b) 光を映している面を平面鏡にかえたところ、光軸上にはB点以外にもう一ヶ所光が集まる点があった。その位置はどこか。次の(ア)～(エ)から選び、記号で答えよ。

(ア) Aよりも左 (イ) AとOの間 (ウ) OとBの間 (エ) Bよりも右

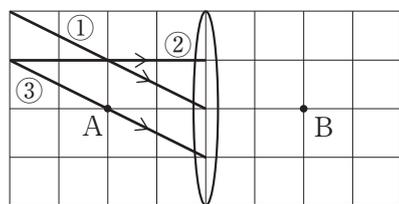


図1

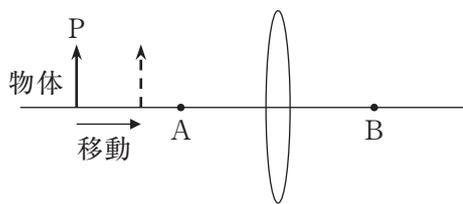


図2

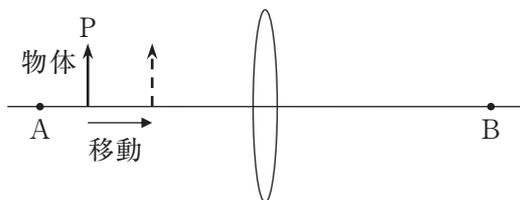


図3

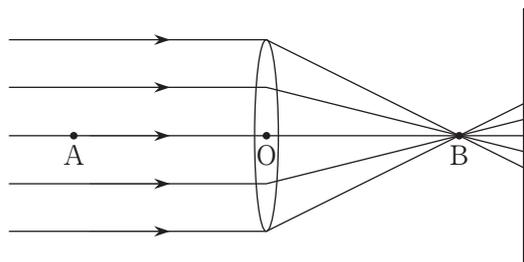


図4

[Ⅱ] 電熱線AとBに電圧を加えたとき流れる電流の大きさを調べた結果, 図5のグラフが得られた。これについて, 次の問いに答えよ。

(4) 下の図6のように, AとBを直列に接続し, 直流電源につなぎ電圧を加えたところ, Aの電力が80Wになった。

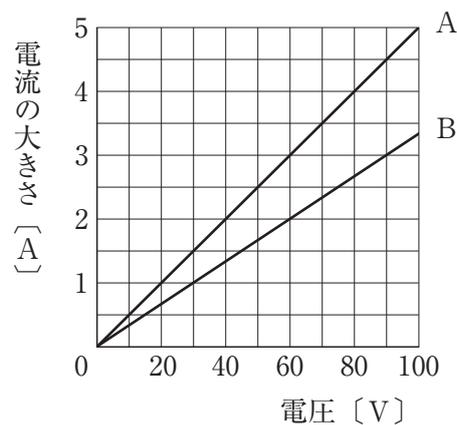


図5

(a) このとき, Bの電力は何Wか。

(b) このとき, 直流電源の電圧は何Vか。

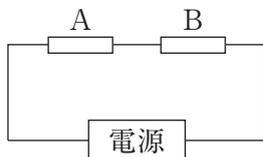


図6

(5) 下の図7のように, AとBを並列に接続し, 直流電源につなぎ電圧を加えたところ, Aの電力が45Wになった。

(a) このとき, Bの電力は何Wか。

(b) このとき, 直流電源の電圧は何Vか。

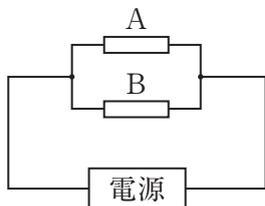
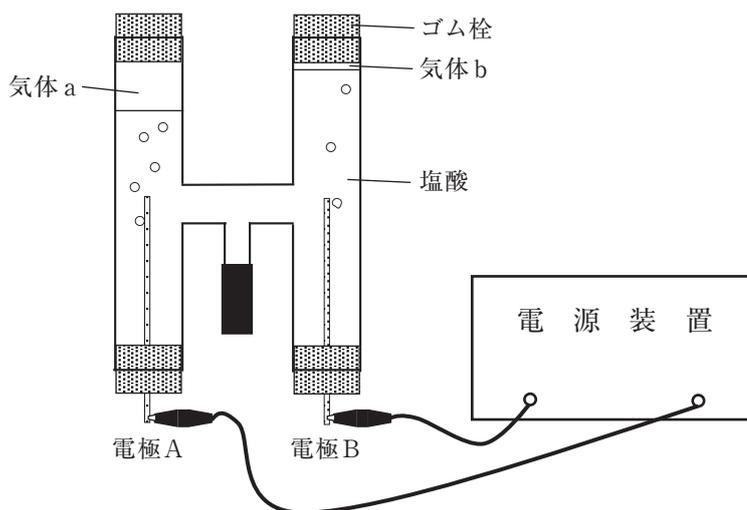


図7

2 右図のような装置（支持器具は省略してある）で、電圧・電流の大きさを一定に保ちながら、塩酸を電気分解する実験を行った。電極Aから気体aが、電極Bから気体bが発生したが、気体bはあまりたまらなかった。次の問いに答えよ。



- (1) 塩酸の溶質の名称を答えよ。
- (2) 塩酸中で溶質から生じているイオンを 2 種類、イオン式で記せ。
- (3) 質量パーセント濃度 35 パーセントの塩酸 100g を 10 パーセントに薄めるには、水を何 g 加えればよいか。
- (4) 電極Aは、電源の+極・-極のどちらにつないでいるか。
- (5) 発生した気体 a を別の容器に移し、火のついたマッチを近づけると音をたてて燃え、無色透明な液体が発生した。気体 a の化学式を記せ。
- (6) 殺菌などにも用いられる漂白剤のラベルには、「酸性タイプの製品と混ぜると有毒な気体が発生して危険」と注意書きがあった。この有毒な気体はこの電気分解でも発生した気体 b である。気体 b の化学式を記せ。
- (7) この電気分解で起こった反応を、化学反応式で記せ。
- (8) 気体 b があまりたまらなかったのは、水にとけやすいからである。たまった気体 a と気体 b の質量をはかると、a が 0.002g、b が 0.011g であった。塩素原子 1 個の質量は、水素原子 1 個の質量の 35.5 倍であるとする、水に溶けた気体 b の質量は何 g か。

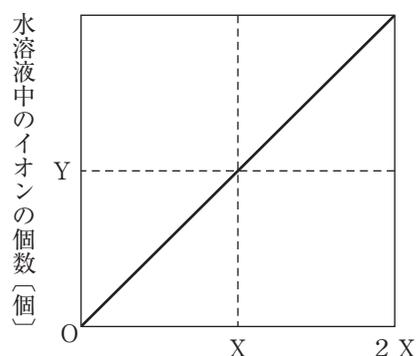
(9) 試験管を 2 本用意し、片方には電気分解前の塩酸を 2 mL 入れた (溶液ア)。もう一方には電気分解後の電極 A 周辺の液を 2 mL 取って入れた (溶液イ)。溶液ア、イにフェノールフタレイン溶液を数滴加えたが、色の変化は見られなかった。さらに、溶液ア、イに同じ濃さの水酸化ナトリウム水溶液を少しずつ加えていった。溶液アでは、加えた水酸化ナトリウム水溶液がある量 ( $X$  [mL]) をこえたところで溶液全体が赤く変色し、さらに  $X$  [mL] の水酸化ナトリウム水溶液を加えたところで、加えるのをやめた。溶液イで溶液全体が赤く変色するまでに加えた水酸化ナトリウム水溶液の量は、 $X$  [mL] とは異なっていた。

(a) 溶液全体が赤く変色するまでに加えた水酸化ナトリウム水溶液の量がより少ないのは、溶液ア、イのどちらか。記号で答えよ。

(b) 変色するまでに加えた水酸化ナトリウム水溶液の量が溶液アと溶液イで異なるのは、電気分解によって電極 A 周辺のあるイオンの数が変化したためである。それについて、正しく述べているものを次の (ア) ~ (カ) から選び、記号で答えよ。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| (ア) 水素イオンが増えたため。   | (イ) 水素イオンが減ったため。   |
| (ウ) 水酸化物イオンが増えたため。 | (エ) 水酸化物イオンが減ったため。 |
| (オ) 塩化物イオンが増えたため。  | (カ) 塩化物イオンが減ったため。  |

(c) 右図は、溶液アに水酸化ナトリウム水溶液を加えていったときの、溶液中のナトリウムイオンの個数をグラフにしたものである。これをもとに、溶液アに水酸化ナトリウム水溶液を加えていったときの、溶液中の塩化物イオンの個数を表すグラフを解答欄に記せ。

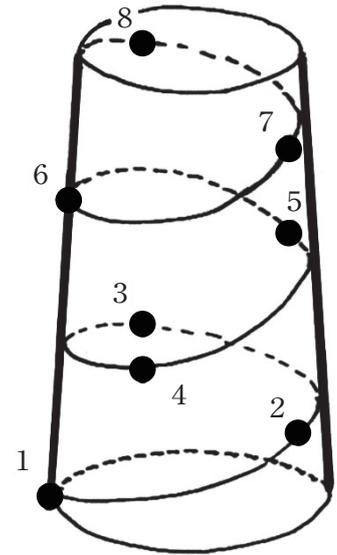


加えた水酸化ナトリウム水溶液の体積 [mL]

3 次の [I], [II] に答えよ。

[I] あるアブラナの仲間を秋から春にかけて観察した。この草本は、秋から早春にかけては葉を地表付近で放射状に広げていたが、春には中央から高く伸びた茎に数枚の葉を付け先端部に花を咲かせた。葉は茎の下から上に向かって、大きな葉から小さな葉へと大きさが変わるとともに、茎から出る葉は1枚ずつ時計と反対回りに位置を変えてついていた。右図の●は葉がついた茎の位置を表している。

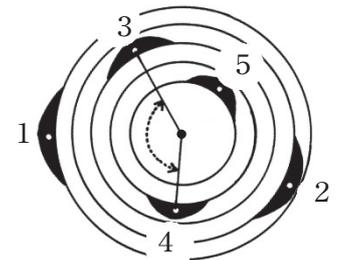
右図のように伸びた茎についた葉を下から順に番号をつけると、1番目と6番目、2番目と7番目、3番目と8番目というように茎の周りを2周するごとに同じ方向に葉をつける周期性をもっていた。



(1) この植物のように茎から1枚ずつ葉をつける植物を次の(ア)～(オ)から選び、記号で答えよ。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| (ア) ヤエムグラ | (イ) アジサイ | (ウ) ヒマワリ |
| (エ) スギゴケ  | (オ) スギナ  |          |

(2) 右図は茎の上側から観察した葉のつき方を模式的に表している。下線部の周期性について、3番目と4番目の間の点線でしめされた角度を答えよ。また、角度が割り切れない場合には、小数第1位を四捨五入して整数で答えよ。



(3) この草本のように、葉の大きさや葉が付く位置を変えることは、植物が大きく成長するうえで役立っている。次の文の( a ), ( b ) に適する語句を漢字で答えよ。

葉と葉の重なりが少なくなり、上部から下部までのそれぞれの葉に光合成に必要な十分な( a )が当たることによって、生きるためのエネルギーを取り出すはたらきである( b )による有機物の分解量に対する、植物全体の光合成による有機物の合成量の割合が大きくなるので、植物体の成長量が大きくなる点で役立っている。

[II] 同じ広さで同じ厚さの葉をつけた同じ太さの茎からなる枝を3本用意し、右図のように水を入れた試験管に挿して蒸散量を調べる実験を行った。なお、すべての試験管の水面には油を入れている。3本の枝A～Cには次のような処理をした。



A：そのまま何も処理をしない。

B：葉の上面（表）にワセリンを塗った。

C：葉の下面（裏）にワセリンを塗った。

(4) BとCには、葉のある構造をふさぐ目的でワセリン塗った。ふさいだ構造の名称を漢字で答えよ。

(5) Aの水の体積の減少量をX [mL]、Bの水の体積の減少量をY [mL]、Cの水の体積の減少量をZ [mL]としたとき、次の(a) (b)に答えよ。

(a) 茎からの蒸散量を表す式を次の(ア)～(カ)から選び、記号で答えよ。

(ア)  $X + Y - Z$                       (イ)  $X + Z - Y$                       (ウ)  $Y + Z - X$

(エ)  $X - Y - Z$                       (オ)  $Y - X - Z$                       (カ)  $Z - X - Y$

(b) 葉の両面からの蒸散量を表す式を次の(ア)～(カ)から選び、記号で答えよ。

(ア)  $2X + Y - Z$                       (イ)  $2X + Z - Y$                       (ウ)  $2Y + Z - X$

(エ)  $2X - Y - Z$                       (オ)  $2Y - X - Z$                       (カ)  $2Z - X - Y$

(6) 次の文の( a )～( c )に適する語句を漢字で答えよ。

葉での光合成が始まると、光合成で生じた( a )の排出と二酸化炭素の吸収が始まる。その際、葉内部から外部へ蒸散も起こるので( b )内の水分子が葉の細胞に運ばれる。一方、根の表皮細胞や、先端部付近の表皮細胞が細く長く伸びた( c )が水を吸収するので、水分子は根の中心部に向かって移動して地上部に向かって押し上げられる。維管束の( b )内では水分子がたがいに繋がっているため、根で押し上げられた水分子は茎を上昇していく。

(7) 蒸散には、根で吸収した水や無機物を汲みあげたり、余分な水を排出したりするはたらきがある。このほかに蒸散にはどのようなはたらきがあると考えられるか簡潔に答えよ。

4 次の〔I〕～〔Ⅲ〕に答えよ。

〔I〕 私たちが住んでいる地球にはたくさんの火山がある。火山の形は、マグマの流れにくさ（ねばりけ）の違いにより、いくつかの種類に分類できる。図1の火山のように円すいに近い形をしている火山もあれば、図2の火山のように山頂がドーム状の形をしている火山もある。図2の火山はマグマのねばりけが（ a ）ため、（ b ）。図1の写真を撮影した場所の近くに止めてあった車の写真が図3である。図3の車のフロントガラスの上部に火山噴出物である（ c ）がうすく積もっていることがわかる。



図1

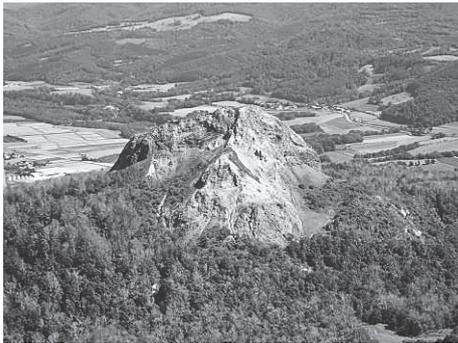


図2



図3

- (1) ( a ) に適するものを次の (ア) ～ (エ) から選び、記号で答えよ。
- |               |               |
|---------------|---------------|
| (ア) 大きく、流れやすい | (イ) 大きく、流れにくい |
| (ウ) 小さく、流れやすい | (エ) 小さく、流れにくい |
- (2) ( b ) に適するものを次の (ア), (イ) から選び、記号で答えよ。
- (ア) ふき上がった溶岩は地表をうすく広がって流れる
- (イ) 溶岩をふき出しにくいがふき出すと爆発的な噴火をする
- (3) ( c ) に適する語句を答えよ。
- (4) 火成岩のうち、マグマが地表や地表近くで急に冷え固まって岩石になったもの何と言うか答えよ。
- (5) 地球と同じように表面が主に岩石できている惑星のうち、地球上から真夜中に観察することができるものを答えよ。

[Ⅱ] 次の4枚の写真は、全て日本にある同じ火山のまわりにできた雲の写真である。この火山の標高は3,776メートルである。これらの写真に関する次の文章を読み、あとの問いに答えよ。雲形に関する問題については、それぞれ写真の○で囲んだ部分の雲について答えよ。

雲の形は、雲のできた場所やでき方などにより大きく分けて十種雲形と言われる10種類に分類できる。その1つである入道雲とも呼ばれる（ a ）は、寒気が暖気の下にもぐりこんで暖気を押し上げながら進む（ b ）前線付近の強い上昇気流の影響で鉛直方向に大きく発達し、雨や雪を降らせる。そのほかに、次のような雲の形もある。

- ・図4のように山頂付近にかかるとかたまり状の雲
- ・図5のように遠くから見ると山より少し高いところにかたまり状に発達している雲
- ・図6のように山の中腹付近にうすく発達する雲
- ・図7のように高い場所から眺めると足元に海のように広がって見える雲海ともいう雲

(6) ( a ), ( b ) に適する語句を答えよ。

(7) 図4～図7に適する雲の種類のを次の(ア)～(エ)から選び、記号で答えよ。

- |        |     |    |     |    |     |    |     |
|--------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| (ア) 図4 | 巻雲  | 図5 | 高積雲 | 図6 | 層雲  | 図7 | 乱層雲 |
| (イ) 図4 | 高積雲 | 図5 | 高積雲 | 図6 | 層雲  | 図7 | 層積雲 |
| (ウ) 図4 | 層雲  | 図5 | 高積雲 | 図6 | 乱層雲 | 図7 | 高積雲 |
| (エ) 図4 | 乱層雲 | 図5 | 層雲  | 図6 | 高層雲 | 図7 | 層積雲 |



図4

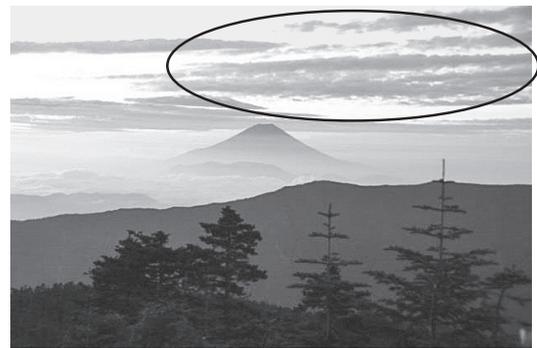


図5



図6



図7

[Ⅲ] 問題 [Ⅱ] の図7付近で美しい雲海にみとれていて、気がつくと夜になってしまった。図8は、その日の夜8時ごろの空の様子である。図8に関する文章を読み、あとの問いに答えよ。

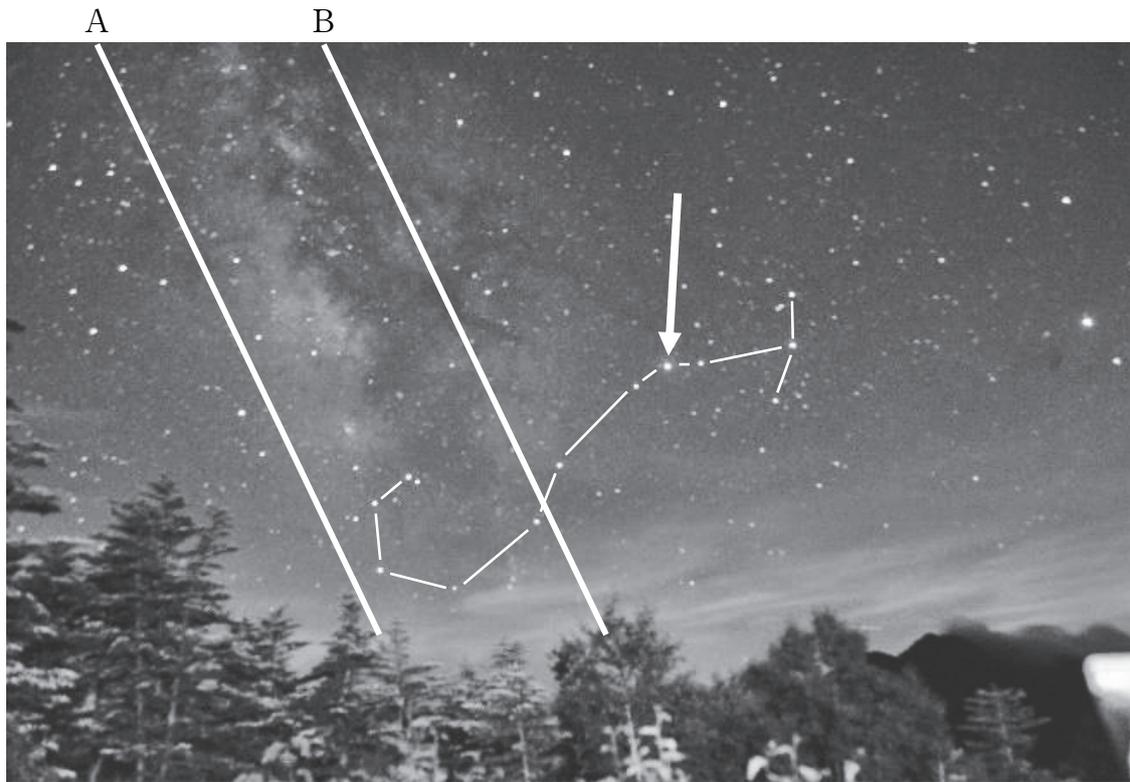


図8

図8は ( a ) 月の ( b ) の空の写真である。宇宙空間のたくさんの天体のうち、自ら光を出して輝く天体を ( c ) という。太陽系の外側には約2,000億個の ( c ) が ( d ) 系とよばれる大きな集団をつくっている。地球から ( d ) 系の中心方向を見ると、図8の2本の直線A, Bの間の部分のように見え、これを ( e ) という。図8では ( f ) 座の代表的な ( c ) を線で結んでいる。矢印で示す特に赤く明るく見える星をアンタレスという。図9に示すようなロケットを使い、大気の無い宇宙空間から観測すると、宇宙をより詳しく観測できる。ロケットの打ち上げは、打ち上げられたロケットが地球の自転の力を借りて加速できるように、( g ) 向きに行うことが多い。

(8) ( a ) に適する数値を次の中から選び、解答欄に記せ。

2      5      8      11

(9) ( b ), ( g ) に適する方角を次の中からそれぞれ選び、解答欄に記せ。

東      西      南      北

(10) ( c ) ~ ( f ) に適する語句を答えよ。



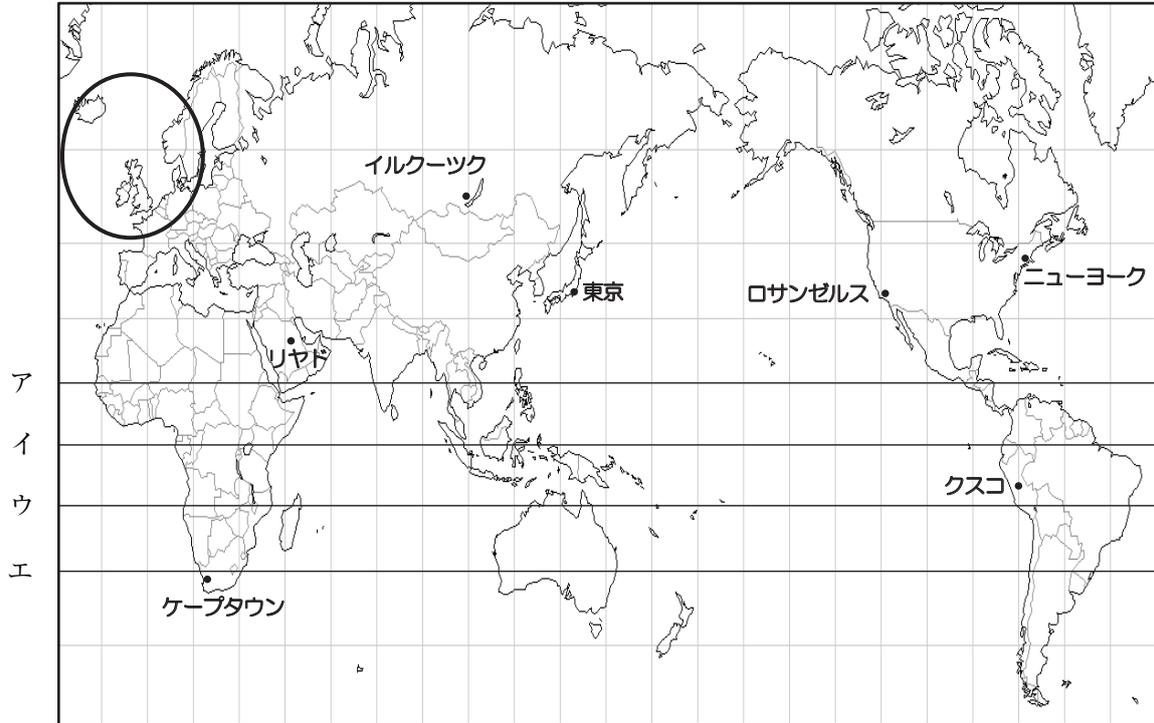
図9

イプシロンロケット4号機の打ち上げの様子  
JAXA 内之浦宇宙空間観測所にて(鹿児島県)

# 社 会

1 下記の世界地図【図1】を参考にして、問1～問5に答えなさい。

【図1】

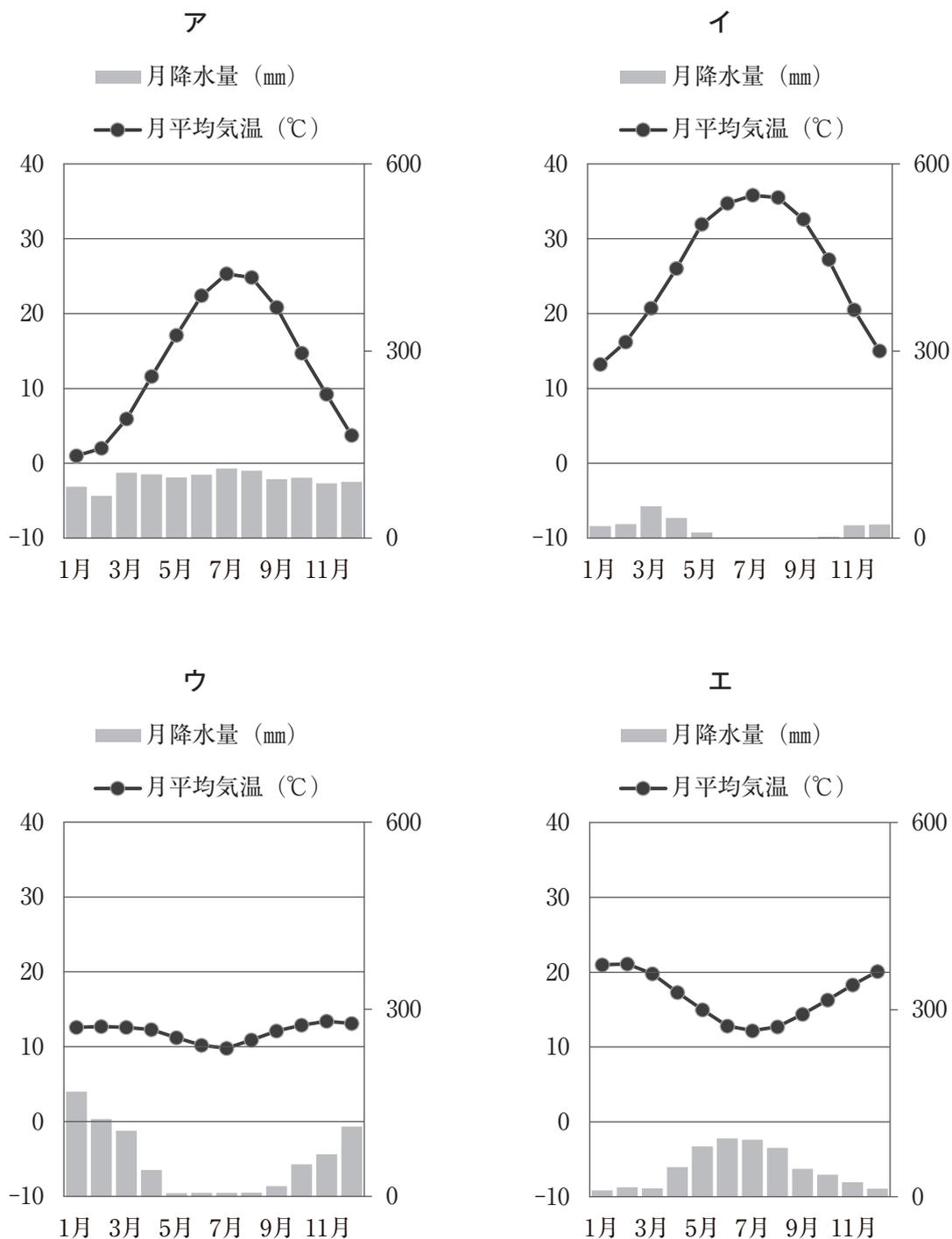


問1 【図1】の直線ア～エのうち赤道として正しいものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

問2 【図1】のイルクーツクは北緯52度，東経104度である。対蹠点<sup>たいせき</sup>を答えなさい。対蹠点とは，地球上の1点と地球の中心を結ぶ直線の延長が，反対側で地球の表面と交わる点である。



(3) 表中の下線部③に関連して、次のア～エのグラフは、【図1】のケープタウン、リヤド、クスコ、ニューヨークの月降水量と月平均気温を示している。ラグビーワールドカップ日本大会で優勝したアフリカ州の国、南アフリカ共和国の都市ケープタウンの雨温図として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。



(気象庁ホームページより作成)

問4 次の表は羊毛の生産、羊の頭数、石炭の産出、鉄鉱石の産出における世界の上位五か国を表している。オーストラリアに該当するのはどれか。表中のア～エのうちから一つ選びなさい。同じ記号のところは、同じ国が入ります。

羊毛の生産 (2018年)	
1位	ア
2位	イ
3位	ウ
4位	イギリス
5位	イラン

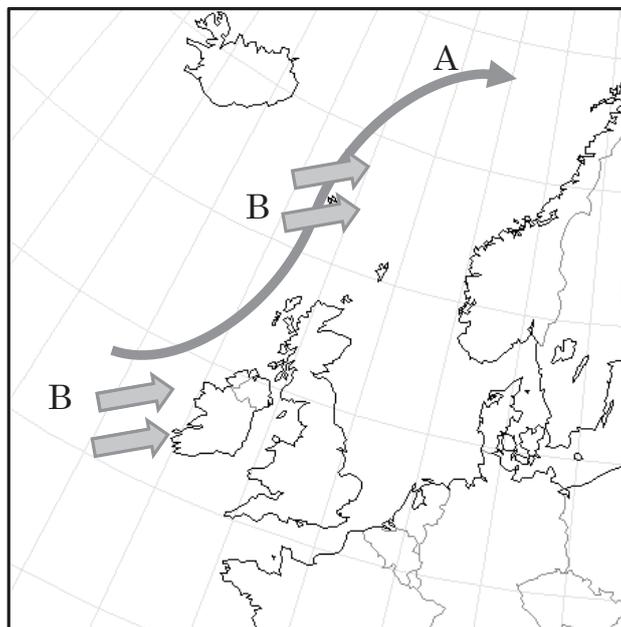
羊の頭数 (2018年)	
1位	ア
2位	イ
3位	エ
4位	ナイジェリア
5位	スーダン

石炭の産出 (2017年)	
1位	ア
2位	エ
3位	インドネシア
4位	イ
5位	ロシア

鉄鉱石の産出 (2017年)	
1位	イ
2位	ブラジル
3位	ア
4位	エ
5位	ロシア

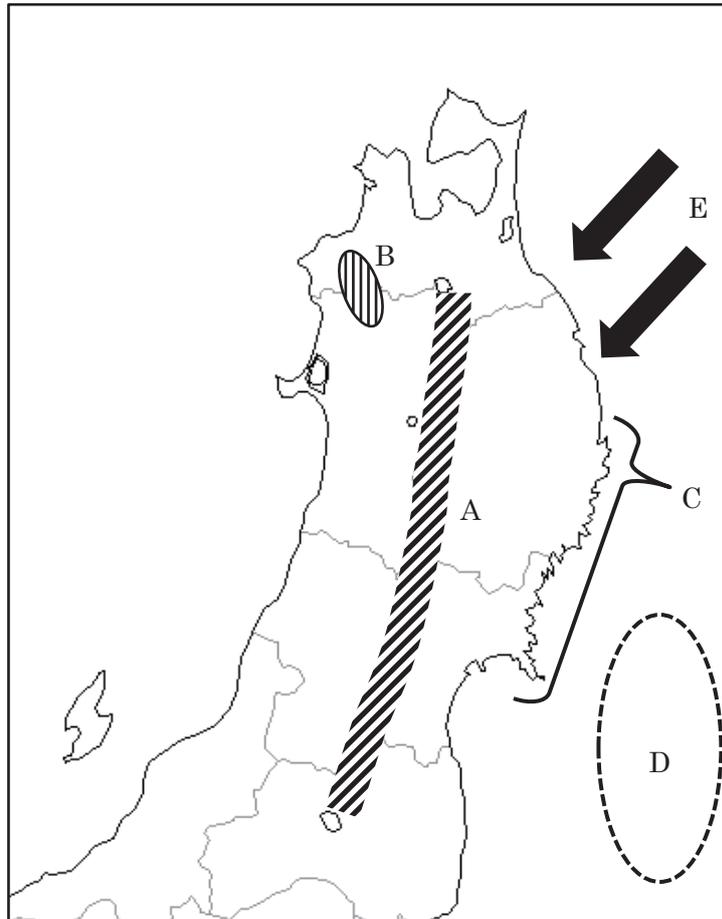
(世界国勢図会2020/21より作成)

問5 下の地図は、【図1】の世界地図中の○で囲っている部分を拡大したものである。この地域は、緯度が高いわりに気候は温暖である。それはAの海流とBの風の影響と考えられている。Aの海流名と、Bの風の名称を記しながら、気候が温暖になる理由を、句読点を含めて35字以内で答えなさい。



2 かんた君は修学旅行で訪れる東北地方についてレポートをまとめた。これを読み，問1～問6に答えなさい。

六つの県からなる東北地方は，①中央には大きな山脈が走り，②青森県と秋田県にまたがる山地には，ぶなの原生林などの豊かな自然が残っています。また③海岸線が複雑な地形があり，三陸海岸が有名です。三陸海岸沖では④よく魚がとれることでも知られています。夏には，⑤湿った冷たい風が北東側から吹き，その風が農産物に大きな影響を与えることもあるそうです。⑥東北地方の各県で行われる伝統的な祭りには，その地域の生活や文化が反映されているものもあります。



問1 下線部①に関連して，中央に走る大きなAの山脈を何というか。答えなさい。

問2 下線部②に関連して，1993年に世界自然遺産に登録されたBの山地を何というか。答えなさい。

問3 下線部③に関連して，地図中のCのような入り組んだ海岸地形を何というか。答えなさい。

問4 下線部④に関連して、地図中の点線で囲まれたDの地域は、暖流と寒流がぶつかるため好漁場としてよく知られている。このように、暖流と寒流がぶつかる場所を何というか。答えなさい。

問5 下線部⑤に関連して、主に6月から8月にかけて吹く地図中のEの冷たく湿った風を何というか。答えなさい。

問6 下線部⑥に関連して、青森県青森市で行われる祭りとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア <sup>かんとう</sup> 竿灯まつり

イ ねぶた祭

ウ <sup>ぎおん</sup> 祇園祭

エ <sup>はなかさ</sup> 花笠まつり

3 下記の年表に関連して、問1～問9に答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
時代	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸
日本のおもなできごと	日本列島ができる	① 邪馬台国の女王が中国に使いを送る	ヤマト王権による国内統一がすすむ	② 十七条の憲法を制定する	③ 聖武天皇が東大寺を建てる	白河上皇が院政を始める	源頼朝が征夷大將軍になる	④ 応仁の乱がおこる	⑤ 豊臣秀吉が全国を統一する	徳川家康が征夷大將軍になる

問1 年表中Aの時代に、世界各地で生まれた文明について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア ティグリス・ユーフラテス川流域に発生したメソポタミア文明では、甲骨文字が使われた。
- イ インダス川流域に発生したエジプト文明では、巨大なピラミッドが造られた。
- ウ ギリシャ文明では、ポリスとよばれる都市国家が生まれた。
- エ 中国文明では、北部を流れる長江流域と南部を流れる黄河流域にいくつもの都市が形成された。

問2 年表中Bの時代におこったできごととして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア インドでは、シャカがきびしい身分制度を批判して仏教を説いた。
- イ パレスチナでは、イエスが神を信じる者はだれでも救われると説いた。
- ウ アラビア半島では、ムハンマドがイスラム教を始めた。
- エ 中国では、孔子が現れ、思いやりの心にもとづく国づくりを説いた。

問3 年表中Gの時代におこった次のア～ウのできごとを、古いものから年代順に正しく並びかえ、記号で答えなさい。

ア 御成敗式目ごせいばいしきもく（貞永式目じょうえいしきもく）の制定

イ 文永ぶんえいの役

ウ 承久じょうきゅうの乱

問4 年表中の傍線部①ほうせんぶに関連して、この女王は誰か。漢字で答えなさい。

問5 年表中の傍線部②ほうせんぶに関連して、十七条の憲法を示した聖徳太子しょうとくたいし（厩戸皇子うまやどの）は、天皇が女性であつたり幼少であつたときに置かれる摂政せつしょうとして政治を行った。聖徳太子が摂政になったときの天皇は誰か。漢字で答えなさい。

問6 年表中の傍線部③ほうせんぶに関連して、口分田が不足したため、聖武天皇はどのように対応したか。具体的な法をあげながら、句読点も含めて35字以内で説明しなさい。

問7 年表中の傍線部④ほうせんぶに関連して、この戦乱以降、実力のあるものが力を伸ばし、上の身分の者にうちかつ風潮がうまれたが、その風潮を何というか。答えなさい。

問8 年表中の傍線部⑤ほうせんぶに関連して、豊臣秀吉が行った政策として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 大名を取り締まるために武家諸法度ぶけしよはつとを定めて、参勤交代さんきんこうたいの制度を設けた。

イ 日本船の海外渡航やポルトガル船の来航を禁止した。

ウ 各地けんちで検地を行うとともに刀狩令かたながりを出し、兵農分離政策へいのうぶんりをとった。

エ 国ごとに守護しゅごを、莊園しょうえんや公領こうりょうごとに地頭じとうを置いた。

問9 日本にはじめて仏教が伝わったのは年表中A～Jのうちどの時代か。正しいものを、年表中のA～Jのうちから一つ選びなさい。

4 下記の年表に関連して、問1～問10に答えなさい。

	年号	おもなできごと
A	1853年	アメリカから① <u>ペリーが来航する</u>
B	1867年	<small>たいせいほうかん</small> 大政奉還がおこなわれる
C	1894年	<small>にっしん</small> ② <u>日清戦争</u> がおこる
D	1914年	第一次世界大戦がおこる
E	1925年	③ <u>普通選挙法</u> が成立する
F	1945年	ポツダム宣言を受諾する
G	1960年	新日米安全保障条約を結ぶ
H	1972年	<small>おきなわしよとう</small> ④ <u>沖縄諸島</u> が返還される
I	1993年	⑤ <u>ヨーロッパ連合 (EU)</u> が発足する
J	1994年	<small>こうしよくせんきよほう</small> ⑥ <u>公職選挙法</u> が改正される
K	1999年	⑦ <u>地方分権一括法</u> が制定される

問1 年表中の下線部①に関連して、ペリーが来航した翌年、幕府は日米和親条約を結んだ。そのときに開港した二つの港はどこか。答えなさい。

問2 年表中の下線部②に関連して、日清戦争後、日本が獲得した遼東半島を清に返還するよう勧告した3国の組み合わせとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア アメリカ・イギリス・フランス
- イ アメリカ・イギリス・ロシア
- ウ イギリス・ドイツ・フランス
- エ ドイツ・フランス・ロシア

問3 年表中の下線部③に関連して、普通選挙法と同時に制定された、社会主義に対する取りしまりを強化する法律名を何というか。答えなさい。

問4 年表中の下線部④に関連して、沖縄諸島返還の交渉に際して示された非核三原則ひかくさんげんそくの三つの原則とは何か。答えなさい。

問5 年表中の下線部⑤に関連して、ヨーロッパ連合（EU）で使用されている共通通貨を何というか。答えなさい。

問6 年表中の下線部⑥に関連して、1994年に改正された公職選挙法に基づいて、現在の国政選挙は実施されている。次の表は、比例代表制で投票された得票数を表している。現在の方法で8名を議席配分するとき、B党に配分される議席は何名か。答えなさい。

	A党	B党	C党	D党
得票数	10000	8000	5000	3000

問7 年表中の下線部⑦に関連して、個人が自分の望む地方公共団体に寄付をした場合、その一定額分を自分のまちに納める住民税から差し引くことができる制度を何というか。答えなさい。

問8 年表中のFとGの間に成立した日本国憲法について、以下の条文の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。なお、二つの（ ）はいずれも同じ語句が入る。

第11条 国民は、すべての（ ）の享有きょうゆうを妨げられない。この憲法が国民に保障する（ ）は、おか侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与あたへられる。

問9 年表中のHとIの間におこった石油危機きき後の世界不況を打開するため、1975年以降、毎年開かれるようになった、主要先進国首脳会議しゅのうを何というか。カタカナで答えなさい。

問10 日本において、はじめて東京でオリンピックが開催されたのは年表中のどの期間か。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア EとFの間
- イ FとGの間
- ウ GとHの間
- エ HとIの間

5 次の A～E の文章は、日本のいくつかの時代の文化の内容を述べたものである。これを読み、問 1～問 5 に答えなさい。

- A 江戸幕府 5 代将軍の時代、上方を中心に町人の間で栄えた文化である。
- B 中国の王朝である唐の影響を強く受けた国際色豊かな文化である。また、聖武天皇が仏教の力を借りて国を治めようとした時代である。
- C 武家と公家、禅宗の文化が融合した文化である。代表的な建築物には慈照寺銀閣がある。
- D 遣唐使が廃止され、日本の風土や生活に根づいた文化である。文化の担い手は貴族で、かな文字で書かれた物語や随筆が誕生した。
- E 武士台頭による影響がみられる素朴で力強い文化である。また、ききんや武士による戦乱が続いたことから、救いを求める民衆のあいだで新しい仏教が広まった。

問 1 A の文化の名称を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 天平文化      イ 化政文化      ウ 東山文化      エ 元禄文化

問 2 B の文化に関連して、この時代に活躍し、何度も遭難し失明しながらも日本に渡航し仏教を広めた唐の僧は誰か。漢字で答えなさい。

問 3 C の文化に関連して、慈照寺銀閣と同じ敷地内にある建物「東求堂同仁齋」にある部屋には、床の間や書・絵画や花が飾られた。この住宅のつくりを何というか。答えなさい。

問 4 D の文化に関連して、この時代に書かれた源氏物語、枕草子、古今和歌集の 3 つの作品と作者、または編者名との組み合わせとして正しいものを、次のア～カのうちから一つ選びなさい。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
源氏物語	清少納言	清少納言	紀貫之	紀貫之	紫式部	紫式部
枕草子	紀貫之	紫式部	清少納言	紫式部	清少納言	紀貫之
古今和歌集	紫式部	紀貫之	紫式部	清少納言	紀貫之	清少納言

問5 Eの文化に関連して、この時代に庶民しよみんに広まった新しい仏教について説明した文章のうち適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア 浄土宗じょうどしゅうの開祖かいそは、法然ほうねんで、一心いっしんに「南無阿弥陀仏なむあみだぶつ」と念仏ねんぶつを唱となえれば誰でも極楽浄土ごくらくじょうどに生まれ変わると説といた。

イ 「阿弥陀如来あみだにょらい」の救きういを信しんじる心こころを強じゆう調てうしたのが時宗じしゆうであり、法然ほうねんの弟子しんらん親鸞しんらんが開ひらいた。

ウ 日蓮にちれんは、法華経ほけきょうの題目だいもく「南無妙法蓮華経なむみょうほうれんげきょう」を唱となえれば人も国も救きうわれると説とき日蓮宗にちれんしゅうを開ひらいた。

エ 栄西えいさいや道元どうげんは、座禅ざぜんによって自分の力ちからでさとりを開ひらこうとする禅宗ぜんしゅうを宋そうから伝でんえ、臨済宗りんざいしゅうや曹洞宗そうとうしゅうを開ひらいた。

令和3年度

# 入学試験問題解答例

(国語, 外国語 (英語), 数学, 理科, 社会)

(高等学校)

令和3年度 高校 国語 解答例

一

〔問一〕

①

同義

②

凶る

③

選択

④

転換

⑤

軽視

⑥

最低

⑦

駆使

⑧

異同

⑨

勧め

⑩

慎重

〔問二〕

A

ア

B

イ

C

エ

〔問三〕

X

エ

Y

ウ

〔問五〕

討論

させるのである。

〔問六〕

1

イ

2

ア

3

ア

4

ア

5

イ

〔問七〕

ウ

オ

〔問八〕

イ

〔問九〕

(例)

文章でものごとを描写させる訓練。

(例)

長い文章を要約する練習。

〔問十〕

夏目漱石

ア

森鷗外

オ

福沢諭吉

ウ

二

〔問一〕

①

出陣

②

伝聞

③

未熟

④

放心

⑤

容認

〔問二〕

A

ウ

B

ア

D

イ

〔問三〕

五十歳

〔問四〕

エ

〔問五〕

イ

〔問六〕

馬の横を通るのでも遠回りをして過ぎるといふような態度になった

〔問七〕

1

ア

2

オ

3

イ

4

エ

〔問八〕

5

イ

6

ウ

〔問十〕

上の上

〔問十一〕

ウ

〔問十二〕

⑤

ただ生命を惜しむ

(例)

⑥

日頃は生命を惜しむことが重要だ

三

〔問一〕

A

イ

B

イ

C

エ

〔問二〕

(1)

8

(2)

5

〔問三〕

ア

〔問五〕

④

エ

⑤

イ

〔問六〕

5

〔問七〕

ア

〔問八〕

ウ

# 令和3年度 高校 外国語(英語) 解答例

1	1	taught	2	worse	3	hers										
	4	sell	5	ninth												
2	1	kitchen	2	November	3	lake										
	4	umbrella	5	summer	6	hand										
	7	uncle														
3	1	ウ	2	ウ	3	ア	4	イ	5	ア						
	6	イ	7	イ	8	ウ	9	ア	10	ウ						
4	1	イ	2	ウ	3	エ										
5	1	is	called	2	without	saying	3	Hurry	or							
	4	taller	boy	5	Were	watching										
6	1	belong	to	2	must	be	3	made	him							
	4	like	to	5	nothing	to										
7	1	A	オ	B	ア	2	A	エ	B	ウ	3	A	エ	B	カ	
8	1	Whose are these pencils?														
	2	Taro doesn't have to cook dinner by seven.														
	3	I was too tired to walk home yesterday.														
9	1	Sleeping is one of the most important things for our health.														
	2	I will be an English teacher after I study abroad to learn English.														
10	1	A	ア	B	イ	2	A	エ	B	イ	C	ウ				
11	A	問1	ウ	問2	エ	問3	イ	B	問1	ア	問2	エ	問3	イ		
12	問1	A	イ	B	ウ	C	ア	D	イ	順不同						
	問2	イ	問3	ウ	問4	めがね			問5	ア	エ	ク				
13	問1	イ	問2	A	made	B	pulled	C	began	D	flew					
	問3	あ	ウ	い	ア	う	イ	え	エ	問4	エ					
	問5	重い物を持ち上げるより引っ張ることの方が簡単なのでそりは役に立った。														
	問6	それから輸送のために動物を利用することはだんだん減少していった。														
	問7	ア	×	イ	×	ウ	×	エ	○	オ	○					

# 令和3年度 高校 数学 解答例

1	(1) $1 + \sqrt{6}$	(2) $\frac{-2x + 4y}{3}$	(3) $x = -25 \quad y = -9$
	(4) $b = \frac{x}{y} - \frac{a}{2}$	(5) $(a + b)(a - b)(x + y)(x - y)$	
	(6) $x = \frac{7}{2}, -\frac{5}{2}$	(7) $\frac{308}{15}$	(8) $87^\circ$

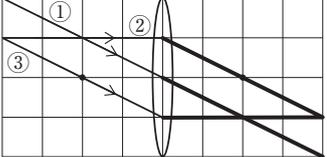
2	(1) (a) $BP : PE = 4 : 1$		(b) $\triangle APE : \triangle BPD = 3 : 8$	
	(2) $a = 4 \quad b = -1$			
	(3) $a = 350$			
	(4) (a) 中央値 $33.5$	平均値 $33$	(b) 誤っている曜日 月曜日	正しい値 $37$
	(5) (a) $\frac{5}{36}$	(b) $\frac{1}{3}$		
	(6) (a) $a = 2$	(b) $6$		

3	$6$	時間後
---	-----	-----

4	(1) $y = -\frac{3}{2}x + 12$	(2) $a = \frac{27}{14}$	(3) $a = \frac{7}{6}$
---	------------------------------	-------------------------	-----------------------

5	(1) 形 正六角形	体積 $108$	
	(2) 形 台形	体積 $63$	(3) $23$

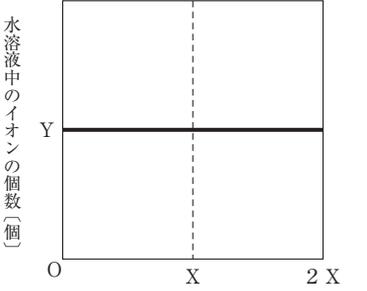
# 令和3年度 高校 理科 解答例

1	(1)	(2)	(3)
		a 右下	b 右下
		a 30 cm	b ア

	(4)	(5)
a	120 w	b 100 v
a	30 w	b 30 v

順不同

2	(1)	(2)	(3)	(4)
	塩化水素	$H^+$	$Cl^-$	250 g
	$H_2$	$Cl_2$	$2HCl \rightarrow H_2 + Cl_2$	0.06 g

(9)				
a	イ	b	イ	c
				

3	(1)	(2)	(3)	(4)
	ウ	144 度	a 日光	b 呼吸
			c 気孔	
	(5)	(6)	(7)	
a	ウ	b エ	a 酸素	b 道管
			c 根毛	
	(7)			
	日光で温まった植物体の温度を下げ、一定に保つ。			

4	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	イ	イ	火山灰	火山岩	火星
	(6)	(7)	(8)		
a	積乱雲	b 寒冷	イ	8	
	(9)	(10)			
b	南	g 東	c 恒星	d 銀河	e 天の川
					f さそり

# 令和3年度 高校 社会 解答例

1

問1	イ	問2	南緯 52度	西経 76度						
問3	(1)	マオリ			(2)	キ	(3)	エ	問4	イ
問5	暖流の北大西洋海流の暖かい空気が、偏西風によって運ばれてくるため。									

2

問1	奥羽山脈	問2	白神山	問3	リアス海岸
問4	潮目	問5	やませ	問6	イ

3

問1	ウ	問2	イ	問3	ウ→ア→イ	問4	卑弥呼	問5	推古天皇	
問6	墾田永年私財法を制定し、新たに開墾した土地を永久に所有者のものとした。									
問7	下克上(下剋上)		問8	ウ	問9	C				

4

問1	下田港	函館港	問2	エ	問3	治安維持法		
問4	核兵器を <u>持たず</u> 、 <u>作らず</u> 、 <u>持ち込ませず</u> 。							
問5	ユーロ	問6	3名	問7	ふるさと納税			
問8	基本的人権			問9	サミット		問10	ウ

5

問1	エ	問2	鑑真	問3	書院造	問4	オ	問5	イ
----	---	----	----	----	-----	----	---	----	---